

研 究 業 績

■ 安 部 誠 治

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) ライフラインの復旧・復興と残された課題	共著	2016年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編『東日本大震災復興5年目の検証』所収、71-92頁。西村弘・安部誠治。
福島第一原発事故と原子力安全規制	共著	2016年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編『東日本大震災復興5年目の検証』所収、333-352頁。小澤守・安部誠治。
(その他、論考・研究資料等)				
インタビュー「大阪市域交通圏及び仙台市の地域協議会会長として」	単著	2016年1月	トラボルト	『traport』 新年特別編集号、6-7頁。
福島第一原発事故後の原子力災害対策	単著	2016年1月	関西大学先端科学技術推進機構	『第20回関西大学先端科学技術シンポジウム講演集』80頁。
マンスリーエッセイ「軽井沢・スキーバス事故に思う」	単著	2016年2月	トラボルト	『traport』 8頁。
簡単でない悪質業者締め出し 安全にかかるコスト再認識を	単著	2016年2月	山陰中央新報社	『山陰経済ウィークリー』 2月23、29日号、5頁。
要件厳格化で参入絞れ	単著	2016年2月	毎日新聞	『毎日新聞』東京本社版、2月26日、オビニオン欄。
知恵結集し、対策を議論	単著	2016年3月	朝日新聞	『耕論 認知症と責任』『朝日新聞』東京本社版、3月2日。
マンスリーエッセイ最終回「シンガポールのタクシー制度」	単著	2016年3月1日	トラボルト	『traport』 第357号、7頁。
第65回全国大会統一論題シンポジウム・パネルディスカッション「公益事業の公正性と効率性」	共著	2016年3月	公益事業学会	『公益事業研究』第67巻第2・3号、41-66頁。草薙真一・安部誠治・石井晴夫・井手秀樹・小坂直人・水谷文俊。
人口減・災害多発時代の運輸安全の課題と展望	単著	2016年3月	国土交通省	『運輸事業の安全に関するシンポジウム2015』講演記録、12-29頁。
自動車事故調の提言——事業用自動車事故の防止と減災——	単著	2016年3月	国土交通省近畿運輸局	『第9回自動車事故防止セミナー』講演記録集、14-27頁。
ヒューマンエラーに起因する鉄道事故の防止に関する一考察	共著	2016年7月	西日本旅客鉄道株式会社・安全研究所	『あんけん』vol.9、1-4頁。吉田裕・安部誠治。
災害の防災と減災	単著	2016年7月	エネルギーレビューセンター	『月刊エネルギーレビュー』第426号、3頁
インタビュー「急がれるICTの活用による経営の現代化」	単著	2016年6月	トラボルト	『traport』 第366号、8頁。
大阪業界への苦言	単著	2016年8月1日	交通界	『交通界21』No.642、13-17頁。
慣れと業界固有の常識は安全にとっての大敵である	単著	2016年10月1日	西日本旅客鉄道株式会社	『CSR REPORT 2016』30頁
インタビュー「業界は内向きの議論脱し、市場へ向けた発信力高めるべき」	単著	2016年12月1日	交通論壇社	『TAXISTA』創刊10周年記念特別号、2016年12月、22-24頁。
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(海外招聘講演) 基調講演 日本の鉄道投資とその社会への影響	単独	2016年9月9日	韓国鉄道文化財団	International Seminar for the Study on the Railway Technology related to the Socio-economical Influence, 於・建国大学(ソウル特別市)
(学会招聘講演) 公益事業の持続可能性	単独	2016年6月11日	公益事業学会	2016年度全国大会、於・立正大学
(講演) 自動車事故調の提言——事業用自動車事故の防止と減災——	単独	2016年1月19日	国土交通省近畿運輸局	第9回自動車事故防止セミナー、於・大阪ドーンセンター・ホール
巨大自然災害に対する社会安全システム	共同	2016年1月21日	関西大学先端科学技術推進機構	第20回関西大学先端科学技術シンポジウム、於・関西大学100周年記念会館、小澤守・近藤誠司・小山倫史・安部誠治。

社会安全学研究 第7号

運輸の安全確保と事業者の役割	単独	2016年8月3日	国土交通省中部運輸局	静岡県運輸安全マネジメントセミナー、 於・しずぎんホール
以下、フリー記入				
(所属学会)				
公益事業学会(理事)、日本交通学会、交通権学会(理事)、日本リスクマネジメント学会、鉄道史学会、日本安全学教育研究会				
(社会貢献活動)				
運輸安全委員会業務改善有識者会議座長(継続)				
河内長野市国民保護協議会委員(継続)				
大阪府タクシー準特定地域合同協議会会長(継続)				
仙台市タクシー特定地域協議会会長(継続)				
大阪市域交通圏タクシー特定地域協議会会長(継続)				
原子力安全推進協会・原子力防災訓練検討委員会委員(継続)				
関西電力・原子力安全検証委員会委員(継続)				
事業用自動車事故調査委員会委員(継続)				
トラック輸送における取引環境・労働時間改善大阪府地方協議会会長(継続)				
国土交通省・軽井沢スキーバス事故対策検討委員会委員(新規)				
東京地下鉄株式会社 ベビーカー引き摺り事故再発防止対策推進委員会(新規)				

研究業績

■ 小澤 守

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 福島第一原発事故と原子力安全規制	分担執筆	2016.3	ミネルバ書房	東日本大震災 復興5年目の検証, 安部誠治, pp.333-352
(学術論文) ミニチャンネル貫流ボイラーの成立性評価	共著	2016.10	日本ボイラ協会	ボイラ研究, 大川富雄, 榎木光治, 大野正晴, 中村太一, pp.9-16
(その他, 論考・研究資料等) ボイラー技術の史的展開 (7. 船用ボイラー技術の進展 (その3))	単著	2016.2	日本ボイラ協会	ボイラ研究, No. 395, pp. 39-48
産学交流のプラットフォーム “MECHAVOCATION”	単著	2016.3	日本機械学会	日本機械学会誌, Vol.119, No.1168, pp.146-149
ボイラー技術の史的展開 (8. ボイラー水処理関連技術の展開 (その1))	単著	2016.4	日本ボイラ協会	ボイラ研究, No.396, pp.32-38
ボイラー技術の史的展開 (8. ボイラー水処理関連技術の展開 (その2))	単著	2016.6	日本ボイラ協会	ボイラ研究, No.397, pp.21-28
ボイラー技術の史的展開 (8. ボイラー水処理関連技術の展開 (その3))	単著	2016.10	日本ボイラ協会	ボイラ研究, No.399, pp.27-35
ボイラー技術の史的展開 (8. ボイラー水処理関連技術の展開 (その4))	単著	2016.12	日本ボイラ協会	ボイラ研究, No.400, pp.31-37
企業の社会的責任と消費者の安全 — パロマ湯沸器事故とその教訓	共著	2016.8	日本安全学教育研究会	日本安全学教育研究会誌, Vol.9, 安部誠治, pp.35-41
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) Re-Flooding of High-Temperature Tube and Simplified Modeling of Cooling Process	共同	2016.11	日本伝熱学会	Proc. 4th Int. Forum on Heat Transfer IFHT2016, Sendai, IFHT2016-1914, T. Yoshimi, A. Okawara
Heat Transfer Characteristics of Combustion Gas from Tubular Flame — Effect of Inner Diameter of Combustion Chamber	共同	2016.11	日本伝熱学会	Proc. 4th Int. Forum on Heat Transfer IFHT2016, Sendai, IFHT2016-1998, J. Mido, R. Matsumoto, D. Shimokuri, M. Katsuki
Boiling Heat Transfer and Flow Regime of Water Flowing Vertically Upward in a Mini-Channel	共同	2016.11	日本伝熱学会	Proc. 4th Int. Forum on Heat Transfer IFHT2016, Sendai, IFHT2016-2037, M. Ono, T. Nakamura, M. A. Islam, K. Enoki, T. Okawa
(招待講演) Development of Power Generation Systems and Related Thermal Engineering Problems	単独	2016.9	Kyusyu University	International Institute for Carbon-Neutral Energy Research
ボイラー水循環問題と気液二相流	単独	2016.8	日本混相流学会	混相流シンポジウム2016京都, 赤川浩爾先生追悼特別セッション
化学プラント事故 — 事故はいつでも冷却喪失から	単独	2016.8	化学工学会関西支部	化学イノベーション研究会
動力技術史から見た我が国のエネルギーシステムのありかた	単独	2016.8	化学工学会	エネルギーロードマップ第3版出版記念シンポジウム
トラブル・事故は必ず繰り返す	単独	2016.7	BERC 関西支部	
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成28年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費補助金 基盤研究 (C)	代表	2015-2017	900 (3,800)	高温高熱容量狭隘流路における沸騰流動ダイナミクス
以下、フリー記入				
(所属学会)				

日本機械学会（フェロー）、日本混相流学会（正会員）、日本伝熱学会（正会員）、日本原子力学会（正会員）、日本工学アカデミー（正会員）、火力原子力発電協会（個人会員）、American Society of Mechanical Engineers（正会員）

（社会貢献活動）

独立行政法人日本原子力研究開発機構・もんじゅ安全・改革検証委員会 委員、もんじゅ安全委員会委員長代理

日本とエネルギーの未来を考える（関西経済連合会、関西大学社会安全学部共催）、2016.6 コーディネータ

（その他業績として記載を希望する事項）

日本機械学会関西支部支部長特別表彰（2016.3）

公益社団法人日本伝熱学会会長（2015.6～2016.5まで）

研 究 業 績

■ 辛 島 恵美子

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 食べ物の安全の考え方とその評価の仕組み	分担執筆	2016年9月16日	すいれん舎	櫻原正澄『食と農の環境問題…持続可能なフードシステムをめざして』第8章 p120-135
(学術論文) 社会安全学のための安全問題関連語の再検討…母国語としての日本語が抱える潜在的課題	単著	2016年8月	日本安全教育研究会	日本安全学教育研究会誌 Vol. 9 2016 pp43-50
安全の思想から見た安全概念錯覚の経緯	単著	2016年11月	科学技術社会論学会	第15回年次研究大会講演集2016, pp 10-11
(その他、論考・研究資料等) 「危険」「安全」に込めた思想(連載)				
(1) 和語「あぶない」と漢語「危険」	単著	2016年6月	危険物新聞	危険物新聞 第750号 p4-5
(2) 危険とあぶないとその英訳	単著	2016年7月	危険物新聞	危険物新聞 第751号 p2-3
(3) 「危険」関連語の概念的特徴	単著	2016年8月	危険物新聞	危険物新聞 第752号 p2-3
(4) 日本語「リスク」の課題(その1)	単著	2016年9月	危険物新聞	危険物新聞 第753号 p2-3
(5) 日本語「リスク」の課題(その2)	単著	2016年10月	危険物新聞	危険物新聞 第754号 p8-9
(6) 日本語「リスク」の課題(その3)	単著	2016年11月	危険物新聞	危険物新聞 第755号 p2-3
(7) 近代的「安全」運動のはじまり	単著	2016年12月	危険物新聞	危険物新聞 第756号 p2-3
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 安全の思想から見た安全概念錯覚の経緯	単著	2016年11月	科学技術社会論学会	第15回年次研究大会(北海道大学)
(招待講演) 第14回 原発震災と安全思想	単独	2016年7月14日	知の市場2016	関大連続講座:東日本大震災 復旧・復興の五年の検証(関西大学東京センター)
社会安全学のための安全問題関連語の再検討…母国語としての日本語が抱える潜在的課題	単著	2016年8月	日本安全教育研究会	第11回日本難全額教育研究会(大阪大学医学部銀杏会館)
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本鉄鋼協会 科学技術社会論学会 日本安全教育学会 日本安全学教育研究会 応用哲学会				
(社会貢献活動) 財団法人 生存科学研究所 評議員 NPO 法人 安全学研究所 理事 和歌山県防災会議委員				

■ 亀井克之

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 新たなリスクと中小企業 日仏シンポジウムの記録	編著	2016年3月	関西大学出版部	112p.
Les PME face aux nouveaux risques	編著	2016年3月	Editions Université du Kansai	50p.
東日本大震災が企業リスクマネジメントに及ぼした影響	分担執筆	2016年3月	ミネルヴァ書房	『東日本大震災 復興5年目の検証』関西大学社会安全学部 編, 第11章, pp.231-249.
日本的リスクマネジメント理論の現代的意義——亀井利明最終講演の記録——	共編著	2016年10月	関西大学出版部	羽原敬二・亀井克之 共編著, 関西大学出版部, 168p.
(学術論文) The transfer of small and medium-sized Japanese family businesses to the younger generation: narratives by student-successors	共著	2016年1月	INDERSCIENCE	Katsuyuki Kamei, Sonia Boussaguet, Aude D'Andria, Romain Jourdan, <i>International Journal of Entrepreneurship and Small Business</i> , Vol.27, No.4 pp.525-541 (査読あり)
東日本大震災が企業リスクマネジメントに及ぼした影響	単著	2016年3月	関西大学社会安全学部	『社会安全学研究』No.6, 関西大学社会安全学部, pp.103-114. (査読あり)
(その他, 論考・研究資料等) まえがき	単著	2016年5月	日本リスクマネジメント学会	『危険と管理』第47号(リジコポリティクの100年——リスク・パラドックス——), pp.I~II
第39回全国大会/ドイツ日本研究所 国際フォーラム 「リジコポリティクの100年——リスク・パラドックス——」の記録	共著	2016年5月	日本リスクマネジメント学会	フランツ・バルデンベルガー, 亀井克之 『危険と管理』第47号(リジコポリティクの100年——リスク・パラドックス——), pp.85~97.
The Risk Paradox Global Risk Challenges and Perception	共訳	2016年5月	日本リスクマネジメント学会	Ortwin Renn 著 亀井克之, フランツ・バルデンベルガー 訳 『危険と管理』第47号(リジコポリティクの100年——リスク・パラドックス——), pp.113-121.
経営資産としての経営者の健康	単著	2016年6月	あんしん財団	『あんしんLife』vol.528, p.26
地震で倒壊する危険性のある老朽化したブロック塀を間伐材と地場木材を活用した木の塀「スーパーフェンス」で代替するプロジェクト	共著	2016年1月	特定非営利活動法人 大学コンソーシアム 大阪	地域連携 学生フォーラム in 大阪 2015 地域と共に学ぶ 連携の道標 報告集, pp.33-38
危機管理とリーダーシップ——リスクマネジメントの基本的な考え方——	単著	2016年3月	近畿地区7高専	近畿地区7高専連携シンポジウム 報告書, pp.33-36
(その他, エッセー) セザンヌの街とサント・ピクトワール山——南仏の古都エクス・アン・プロバンス——	単著	2016年1月	株式会社扶洋NEXT編集委員会	『NEXT』Vol.74/2016新年号(「太陽と健康の文化[南仏閑話]第21回」), pp.9-10.
南仏モンペリエの街を訪れて——フランスにおける中小企業研究の聖地——	単著	2016年4月	株式会社扶洋NEXT編集委員会	『NEXT』Vol.75/2016春号(「太陽と健康の文化[南仏閑話]第22回」), pp.11-12.
南仏プロバンスのマルシェ——新鮮な食品の流通で存在感を示すフランスの風物詩——	単著	2016年7月	株式会社扶洋NEXT編集委員会	『NEXT』Vol.76/2016夏号(「太陽と健康の文化[南仏閑話]第23回」), pp.13-14.
紺碧海岸(コート・ダジュール)の華 ニースに想いを寄せて——2016年7月14日・フランス革命記念日のテロ——	単著	2016年10月	株式会社扶洋NEXT編集委員会	『NEXT』Vol.77/2016秋号(「太陽と健康の文化[南仏閑話]第24回」), pp.19-20.
(その他, 関西大学広報誌) 社会安全学部生3人が学会から表彰	単著	2016年1月	関西大学広報委員会	『関西大学通信 Kandai Style』Vol.447, p.10.
日新火災・保険市場の寄付講座	単著	2016年10月	関西大学広報委員会	『関西大学通信 Kandai Style』Vol.453, p.10.
講義紹介 危機管理とリーダーシップ	単著	2016年6月	関西大学	『関西大学 社会安全学部』関西大学学部案内2017, p.9

研 究 業 績

発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 経営者と健康——AMAROKによる日仏共同調査——	共同	2016年5月14日	日仏経営学会	Florence Guiliani 亀井克之 尾久裕紀, 第67回全国大会, 獨協大学
アンリ・ファヨール保全的職能論(1916)の現代的意義	単独	2016年10月15日	日本リスクマネジメント学会	第40回全国大会「ファヨール理論100周年 リスクマネジメント理論の100年」後援フランス大使館, 関西大学 梅田キャンパス
アンリ・ファヨール経営管理論の現代的意義危機管理論の視点から	単独	2016年11月5日	日仏経営学会	第68回全国大会, アンリ・ファヨール「産業ならびに一般の管理」100周年記念大会, 後援フランス大使館, 関西大学 東京センター
(国際学会発表) Health of SME managers in Japanese context pre-test prior to comparison France and Japan	共同	2016年9月30日	AMAROK	Katsuyuki Kamei, Florence Guiliani, Hiroki Ogyu, Romain Jourdan et Chihiro Kageura, International Workshop on Health of Small Business Owner & Entrepreneurs, Montpellier Business School, 29 septembre 2016
(研究報告) リスクマネジメントの視点から	単独	2016年3月24日	関西大学 経済・政治研究所	平成27年度第10回公開セミナー「市民マラソンと地域社会——スポーツ文化から2020年を見直そう——」, 関西大学 経済・政治研究所 スポーツ・健康と地域社会研究班, 関西大学 東京センター
健康経営とスポーツ支援——保険市場による大阪マラソンの取り組み——	単独	2016年10月5日	関西大学 経済・政治研究所	第217回産業セミナー「リオ2016から東京2020へ スポーツ文化の視点から2020を考える」, 関西大学 経済・政治研究所 スポーツ・健康と地域社会研究班, 後援株式会社アドバンス・クリエイティブ, 関西大学 千里山キャンパス 尚文館 マルチメディア AV 大教室
(日本学術会議登録学会・全国大会実行委員長) ファヨール理論100周年 リスクマネジメント理論の100年	単独	2016年10月15日	日本リスクマネジメント学会	第40回全国大会「ファヨール理論100周年 リスクマネジメント理論の100年」, 後援フランス大使館, 関西大学 梅田キャンパス
アンリ・ファヨール『産業ならびに一般の管理』100周年記念大会	単独	2016年11月5日	日仏経営学会	第68回全国大会, アンリ・ファヨール「産業ならびに一般の管理」100周年記念大会, 後援フランス大使館, 関西大学 東京センター
(招待講演) 危機管理とリーダーシップ——リスクマネジメントの基本的な考え方——	単独	2016年1月16日	近畿地区7高専	「近畿地区 7高専連携による防災技能を有した技術者教育の構築」近畿地区7高専連携シンポジウム, 明石市立産業交流センター
リスクマネジメント	単独	2016年1月26日	大阪府工業協会	経営マネジメント ビジネススクール, 大阪府工業協会
中小会社のBCP策定実務と監査役役割——非常事態における事業継続とは——	単独	2016年2月23日	日本監査役協会 関西支部	日本監査役協会関西支部 講演会, 日本監査役協会関西支部会議室
リスクマネジメントの考え方	単独	2016年2月26日	日本大学法学部	日本大学法学部比較法研究所英米法部会研究会, 日本大学法学部10号館1031講堂
中小企業リスクマネジメントの新しい視点	単独	2016年2月27日	関西大学社会連携部・大同生命	関西大学特別公開講座 大同生命寄付講座「関西中小企業の活性化と経営革新セミナー」 関西大学 千里山キャンパス 第二学舎F402教室
中小企業における経営者の健康とリスク	単独	2016年3月12日	あんしん財団	平成28年度進発式 講演, コクヨホール
リスクマネジメント④ そのときどうしたか 日立/日産/ミューザ川崎/老舗/石巻赤十字病院/J&Jの事例	単独	2016年3月30日	四天王寺社会福祉事業団	役員研修, 四天王寺福祉事業団

社会安全学研究 第7号

学生生活とリスクマネジメント	単独	2016年4月11日	大阪医科大学	大阪医科大学 大学安全対策室, 新入生オリエンテーション 危機管理教育講演, 大阪医科大学
東日本大震災がグローバル企業の経営戦略に及ぼした影響	単独	2016年5月26日	関西大学社会安全学部	平成28年度関西大学社会安全学部連続セミナー, 東日本大震災復旧・復興5年の検証, 関西大学 東京センター
リスクマネジメント概論	単独	2016年6月4日	大阪能率協会	第15回リスクマネジメント講座, マイドームおおさか8階第1会議室
ソーシャルリスクマネジメント	単独	2016年6月4日	大阪能率協会	第15回リスクマネジメント講座, マイドームおおさか8階第1会議室
中小企業における健康経営	単独	2016年7月8日	関西大学科学技術振興会	平成28年度第2回研究会「強い中小企業のマネージメントとテクノロジー」, 関西大学 校友・父母会館2階会議室
地域防災と中小企業のリスクマネジメント	単独	2016年7月21日	高槻商工会議所 青年部	高槻商工会議所青年部 創立20周年記念式典 講演, アンシエルデ・マリアージュ
リスクマネジメントの視点から見た地図問題	単独	2016年12月3日	大阪土地家屋調査士会三島支部	地籍シンポジウム, パネラー, 茨木市福祉文化会館 文化ホール
東日本大震災が企業のリスクマネジメントに及ぼした影響	単独	2016年12月23日	関西大学社会安全学部	平成28年度関西大学社会安全学部連続セミナー, 関西大学 梅田キャンパス
(通訳・司会) 逆境に負けずに生きる	単独	2016年1月30日	関西大学 経済・政治研究所	平成27年度第5回公開セミナー, 共催 パリ・クラブ 日仏経済交流会, 大阪府こころの健康総合センター委託事業, 「逆境に負けずに生きる」ドキュメンタリー「霧の向こう」上映会とフランス人映画監督との意見交換会 311 to 1113, ケイコ・クルディ監督講演, 関西大学 高槻ミューズキャンパス ミューズホール, 通訳・コーディネーター
睡眠とマネージメント	単独	2016年4月20日	関西大学 経済・政治研究所	関西大学 経済・政治研究所 外国人招へい研究者フロランス・ギリアニ講演会, 通訳, 関西大学 千里山キャンパス第一学舎E101
睡眠とマネジメント	単独	2016年5月12日	関西大学 経済・政治研究所	平成28年度第1回公開セミナー, 外国人招へい研究者 フロランス・ギリアニ講演会, 通訳, 関西大学 児島惟謙館
フロランス・ギリアニ氏インタビュー	単独	2016年5月13日	あんしん財団	あんしん財団広報誌『あんしんLife』8月号用インタビュー, 通訳, あんしん財団
(社会安全学部教員FD) 補章 フランス語圏の社会安全学研究	単独	2016年5月11日	関西大学社会安全学部	社会安全学教科書FD, 関西大学高槻ミューズキャンパス 特別会議室
第3部第3章 リスクマネジメント	共同	2016年5月27日	関西大学社会安全学部	亀井克之 林能成, 社会安全学教科書FD, 関西大学高槻ミューズキャンパス 特別会議室
第3部第5章 危機管理	単独	2016年10月12日	関西大学社会安全学部	社会安全学教科書FD, 関西大学高槻ミューズキャンパス 特別会議室
(その他) Rapport d'évaluation du programme « Stratégies inter-organisationnelles et innovation » de Labex Entreprendre	単独	2016年2月9日	Labex Entreprendre, l'Université Montpellier 1	Comité scientifique de Labex Entreprendre, l'Université Montpellier 1
スポーツ・健康と地域社会研究班 平成27年度活動報告	単独	2016年3月25日	関西大学 経済・政治研究所	平成27年度 顧問との懇談会, 関西大学 児島惟謙館 会議室
(高大連携事業 等) 社会安全学とは何だろう? — 防災ゲームで学習しよう —	単独	2016年7月29日	大阪中学生サマー・セミナー推進協議会	平成28年度 大阪中学生サマー・セミナー, 関西大学 高槻ミューズキャンパス 2F マルチミーティング・ルーム

研 究 業 績

自然災害と企業の危機管理	単独	2016年8月6日	関西大学	関西大学 オープンキャンパス2016, 社会安全学部 ミニ講義, 千里山キャンパス
危機管理とリーダーシップ	単独	2016年11月17日	大阪府立市岡高等学校	Kandai 1セミナー, 大阪府立市岡高等学校
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成28年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(C) 課題番号: 24530436	研究代表者	2012~2017年	800 (5,000)	中小企業の事業承継に関する日仏共同研究を通じた事業承継リスクマネジメントの提案
大阪府平成27年度学生の視点を入れた自殺予防事業	研究代表者	2016年	298	学生の視点を入れた自殺予防事業のあり方の検討と事業の実施
国際交流助成基金による関西大学と協定大学間の共同研究助成(ルーベン・カトリック大学)	研究代表者	2016~2017年	1,560 (700)	中小企業のCSRと地域社会における変革 Management of Corporate Social Responsibility of SMEs and Change Management at Community
関西大学 教育研究高度化促進費	共同研究者	2016~2018年	3,780 (1,000)	「ブランド創造都市」大阪の推進と発信 — 食・安全・健康 —
大妻女子大学・あんしん財団 共同調査	共同研究者	2017年~2019年	16,015 (4,796)	AMAROK 経営者の健康あんしんアクション
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本リスクマネジメント学会 理事長(～2016年10月15日) 副理事長・事務局長(2016年10月15日～) 日仏経営学会 常任理事 ファミリービジネス学会 理事 ソーシャル・リスクマネジメント学会 理事 事業承継学会 日本経営学会 日本商品学会 日本中小企業学会 日本保険学会 情報経営学会 リスク研究学会 スポーツ社会学会 PL 研究学会 AIREPME (Association Internationale de Recherche en Entrepreneuriat et PME) 副会長				
(社会貢献活動) 日本経済学会連合 評議員 経営学関連学会連絡協議会 委員 モンペリエ大学・経営学部・企業家活動研究所 Labex Entreprendre, 学術委員会委員 Université Montpellier, Laboratoire d'Excellence Entreprendre (Labex Entreprendre), membre de comité scientifique フランス中小企業経営者健康問題支援機構 AMAROK, Observatoire de la santé des dirigeants de PME 日本支部 (AMAROK Japan) 事務局長 関西大学経済・政治研究所, スポーツ・健康と地域社会研究班, 主幹 関西大学経済・政治研究所 外国人招へい研究者 フロランス・ギリアニ(フランス・モンペリエ大学経営学部研究員) 受入れ担当責任者(2016年4月13日～5月18日). 関西大学 準登録学生団体 KUMC 顧問 通訳案内士・フランス語 通訳案内士・英語				
(非常勤講師) 九州大学 ビジネススクール「経営リスクマネジメント」担当 大阪医科大学 看護学部「くらしと安全・危機管理」担当				
(その他業績として記載を希望する事項)				

- (記事作成協力)「日本RM学会 関西大学で第40回全国大会 ファヨール理論100周年記念し研究報告」, 保険毎日新聞, 2016年11月7日
- (記事作成協力)「日新火災・アドバンスクリエイト 関西大学で寄付講座 学生にリスク・ファイナンスなど理解促す」, 保険毎日新聞, 2016年11月18日
- (記事作成協力)「安全・安心な社会を支える保険制度」 関西大社会安全学部で寄付講座 日新火災とアドバンスクリエイト」, 新日本保険新聞, 2016年11月21日.
- (記事作成協力)「RM学会 統一論題 ファヨール・RM理論の100年 第40回全国大会・関大梅田キャンパスで開催」, インシュアランス 損保版, 2016年11月24日.
- (記事作成協力)「日新火災 関大社会安全学部で寄付講座 安全・安心な社会を支える保険制度」, インシュアランス 損保版, 2016年12月1日.
- (記事作成協力)「アドバンスクリエイト 関西大学社会安全学部で寄付講座 濱田社長が経営とRMテーマに講演」, 保険毎日新聞, 2016年12月16日
- (コメント)「鉄道事業見直し 「地域が衰退」「観光打撃」 ローカル沿線深刻」 北海道新聞, 2016年7月30日
- (コメント)「もう24時間働きません」AERA, 2016年12月5日号, 朝日新聞社, pp.58-59
- (記事作成協力)「児童らが関大で防災学ぶ 簡易バケツリレーや伝言ゲームも体験」.産経新聞, 2016年6月15日 <http://www.sankei.com/west/news/160615/wst1606150050-n1.html>
- (高槻市教育委員会・防災教育事業協力) 2016年5月13日, 高槻市立奥坂小学校2年生80人が高槻ミュージックキャンパスを訪問し施設見学と社会安全学部生との合同防災実習
- (高槻市教育委員会・防災教育事業協力) 2016年11月8日, 高槻市立奥坂小学校5年生98人が高槻ミュージックキャンパスを訪問し施設見学と社会安全学部生との合同防災演習・防災替え歌合唱
- (記事作成協力)「第15回 リスクマネジメント講座の報告」『産業能率』大阪能率協会, 2016年7-8 夏季号, pp.24-25
- (記事作成協力)「経営者の健康とメンタルヘルス」『あんしんLife』vol.526, 2016年4月, あんしん財団, pp.6-11
- (記事作成協力)「日本での「中小企業経営者・個人事業主の健康・メンタルヘルス調査」に期待 フランス AMAROK フロランス・ギリアニ氏インタビュー」『あんしんLife』vol.530, 2016年8月, あんしん財団, pp.26-27
- (番組制作協力)「奥坂小学校児童が関西大学社会安全学部訪問」『デイリーニュース高槻・島本』J:COM, 2016年6月16日放送
- (番組制作協力)「防災フェアINたかつき2016」『デイリーニュース高槻・島本』J:COM, 2016年9月26日放送
- (番組制作協力)「奥坂小学校の児童が関西大学で防災学習 災害時の備えや心構えを学ぶ」『デイリーニュース高槻・島本』J:COM, 2016年11月11日放送
- (展示)「ブロック塀の危険性と木の塀による代替可能性を実物を用いて展示」 亀井ゼミ, 関西大学第2回高槻ミュージックキャンパス祭, 2016年6月19日
- (展示)「新たな「塀」で命を守る」 関西大学社会安全学部亀井ゼミ/港製器工業株式会社, 防災フェアINたかつき2016, 2016年9月24日 高槻市生涯教育センター
- (学生指導) 学生団体KUMCによる防災・安全教育, 高槻市立五百住小学校放課後子ども教室, 2016年8月31日

研 究 業 績

■ 川 口 寿 裕

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 群集詰め込み時の圧縮力分布	単著	2016年12月	交通流数理研究会	第22回交通流と自己駆動粒子系シンポジウム論文集（査読有）
車椅子利用者を含んだ群集の行動特性に関する実験および数値モデルの開発	共著	2016年12月	交通流数理研究会	第22回交通流と自己駆動粒子系シンポジウム論文集（査読有）
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成28年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	代表	2016～2018年	900 (3600)	高密度群集の歩行経路追跡システムの開発と歩行者シミュレーションモデルの高精度化
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本機械学会 粉体工学会 日本混相流学会 可視化情報学会 日本災害情報学会 交通工学研究会 日本建築学会				
(社会貢献活動) 関西大学高槻ミュージアム第24回公開講座「超変革!? 鉄道駅の安全対策：鉄道駅利用者の安全を考える」(2016年11月12日)				

■ 越山 健治

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 東日本大震災 復興5年目の検証	分担執筆	平成28年3月	ミネルヴァ出版	関西大学社会安全学部編、「第2章 東日本大震災における住宅再建の現状と地域復興との関係」を担当。
災害対応ハンドブック	分担執筆	平成28年5月	法律文化社	室崎益輝・岡田憲夫・中林一樹監修、野呂雅之・津久井進・山崎栄一編、「避難の方法」(pp.4-6)、「復興計画のあり方」(pp.119-121)を担当。
(学術論文) 災害時に利用される空間コスト算定に関する研究	共著	平成28年7月	日本都市計画学会関西支部	第14回日本都市計画学会関西支部研究発表報告集、大塚和徳
自治体の災害時応援職員は現場でどのように調整されたか	共著	平成28年11月	地域安全学会	地域安全学会論文集No.29、永松伸吾(査読有)
(その他、論考・研究資料等) 被災社会における保健師と地域の関係性に関する研究	共著	平成28年3月	関西大学社会安全学部	社会安全学研究No.6、pp.123-133、真鍋友希
知識移転手法に基づいた災害経験の伝達・展開に関する研究	共著	平成28年3月	関西大学社会安全学部	社会安全学研究No.6、pp.135-146、小野田理保
原子力災害がもたらした新たな避難形態とその生活実態	単著	平成28年7月	日本災害情報学会	災害情報No.14、pp.27-32
建築・都市計画分野におけるわたしの災害復興研究と分野における深化	単著	平成28年11月	日本災害復興学会	日本災害復興学会誌「復興」通巻第17号、pp.25-30
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) Housing recovery process of the Great East Japan Earthquake Disaster in Japan	単独	平成28年10月18日	ICUDR	4th International Conference on Urban Disaster Reduction, Newzealand
(招待講演) 高槻市における災害の備え方	単独	平成28年1月30日	高槻市	高槻市防災指導員講習
災害とつきあう方法 — まちの備えとして —	単独	平成28年2月27日	高槻市	高槻市三箇牧地区防災講演会
災害対応概論(復旧・復興)	単独	平成28年6月8日	人と防災未来センター	人と防災未来センター 災害対策専門研修 エキスパートコースA
公園を活用した安全・安心を考えよう	単独	平成28年6月26日	高槻市	高槻市安満遺跡公園 市民活動プロジェクト
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成28年度の研究経費(期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費 基盤研究(B)	代表	2014~2017年度	3700(11900)	巨大災害を見据えたすまいの復興計画のあり方の研究
科学研究費 基盤研究(A)	分担	2016~2020年度	150(43550)	福島第一原子力発電所事故を教訓とした大規模緊急広域避難対策に関する社会情報学研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本建築学会都市計画委員会 都市防災ワーキンググループ 日本都市計画学会 地域安全学会 学術委員会委員 日本火災学会 都市住宅学会 日本自治体危機管理学会				

研 究 業 績

日本災害情報学会 編集委員会委員

日本災害復興学会

(社会貢献活動)

大阪府石油コンビナート等防災本部地震・津波被害想定検討部会 委員

高槻市 まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 委員

高槻市総合計画審議会 委員

京都府防災会議 戦略的地震防災対策推進部会 委員

■ 高鳥毛 敏 雄

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 東日本大震災における被災者の健康支援活動の到達点	分担	2016年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編, 東日本大震災復興5年目の検証, 第4章を担当, 93-113.
食品の安全を守る社会の仕組み	分担	2016年9月	すいれん舎	樫原正澄編, 食と農の環境問題 持続可能なフードシステムをめざして, 第9章を担当, 136-157.
(学術論文) イギリスにおける医師・専門医と公衆衛生医・専門家の資格認定の変遷	単著	2016年5月	医学書院	公衆衛生, Vol.80, No.5, 351-355.
(その他, 論考・研究資料等) 感染症対策 「第一線」強化を	単著	2016年1月	読売新聞社	読売新聞, 論点, 1月13日朝刊.
結核問題について小児を中心に考える 国際的視点から	単著	2016年4月	診断と治療社	チャイルドヘルス, Vol.19, No.4, 279-282.
保健所は公衆衛生の拠点となっているのか	単著	2016年12月	全国保健師活動研究会	第48回全国保健師活動研究会報告書, 133-135.
欧州における神経管閉鎖障害有病率の長期間の推移: 地域ベースの研究 Long term trends in prevalence of neural tube defects in Europe: population based study BMJ. 2015 Nov 24;351:h5949. doi: 10.1136/bmj.h5949.	翻訳監修	2016年1月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2016/bunken_01ta.html
2012-2015年にカリフォルニア州で発生した病因不明の急性弛緩性脊髄炎 Acute Flaccid Myelitis of Unknown Etiology in California, 2012-2015 JAMA. 2015 Dec 22-29;314 (24): 2663-71. doi: 10.1001/jama.2015.17275.	翻訳監修	2016年2月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2016/bunken_02ta.html
未治療の脳海綿状血管腫の臨床的予後の検討: 患者データのメタアナリシス Clinical course of untreated cerebral cavernous malformations: a meta-analysis of individual patient data Lancet Neurol. 2015 Dec 1. pii: S1474-4422 (15) 00303-8. doi: 10.1016/S1474-4422 (15) 00303-8.	翻訳監修	2016年3月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2016/bunken_03ta.html
関節リウマチ, 腫瘍壊死因子阻害薬投与と皮膚扁平上皮がんと基底細胞がんのリスクの検討: スウェーデンの全国データに基づくコホート研究 Rheumatoid arthritis, anti-tumour necrosis factor treatment, and risk of squamous cell and basal cell skin cancer: cohort study based on nationwide prospectively recorded data from Sweden. BMJ. 2016 Jan 28;352: i262. doi: 10.1136/bmj. i262	翻訳監修	2016年4月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2016/bunken_04ta.html
結核発病リスクの予測サインとなる血液中のRNA塩基配列: 前向きコホート研究 A blood RNA signature for tuberculosis disease risk: a prospective cohort study Lancet. 2016 Mar 23; pii: S0140-6736 (15) 01316-1. doi: 10.1016/S0140-6736 (15) 01316-1.	翻訳監修	2016年5月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2016/bunken_05ta.html

研 究 業 績

<p>関節リウマチに対するメトトレキサート単独療法、メトトレキサートと既存薬療法または生物学的疾患修飾性抗リウマチ薬との併用療法についてのシステマティックレビューによるメタ解析評価</p> <p>Methotrexate monotherapy and methotrexate combination therapy with traditional and biologic disease modifying antirheumatic drugs for rheumatoid arthritis: abridged Cochrane systematic review and network meta-analysis BMJ. 2016 Apr 21;353:i1777. doi: 10.1136/bmj.i1777.</p>	翻訳監修	2016年6月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2016/bunken_06ta.html
<p>股関節骨折に対する人工股関節全置換術実施状況の格差分析：地域ベース研究</p> <p>Inequalities in use of total hip arthroplasty for hip fracture: population based study BMJ. 2016 Apr 27;353:i2021. doi: 10.1136/bmj.i2021.</p>	翻訳監修	2016年7月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2016/bunken_07ta.html
<p>ブラジルにおける先天性ジカウイルス症候群の検討：調査完了出生児1,501例の分析から</p> <p>Congenital Zika virus syndrome in Brazil: a case series of the first 1501 livebirths with complete investigation Lancet. 2016 Jun 29. pii: S0140-6736 (16) 30902-3. doi: 10.1016/S0140-6736 (16) 30902-3.</p>	翻訳監修	2016年8月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2016/bunken_08ta.html
<p>中年患者の半月板変性断裂に対する運動療法と関節鏡視下半月板部分切除術の治療評価：無作為化対照群の2年間の追跡調査</p> <p>Exercise therapy versus arthroscopic partial meniscectomy for degenerative meniscal tear in middle aged patients: randomised controlled trial with two year follow-up BMJ. 2016 Jul 20;354:i3740. doi: 10.1136/bmj.i3740.</p>	翻訳監修	2016年9月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2016/bunken_09ta.html
<p>開放方針別にみた精神病院入院患者の自殺および自己退院のリスクの比較：15年間の精神病院の観察に基づく研究</p> <p>Suicide risk and absconding in psychiatric hospitals with and without open door policies: a 15 year, observational study. Lancet Psychiatry. 2016 Sep; 3 (9): 842-9. doi: 10.1016/S2215-0366 (16) 30168-7. Epub 2016 Jul 28.</p>	翻訳監修	2016年10月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2016/bunken_10ta.html
<p>関節拘縮症を伴う先天性ジカ症候群：後ろ向き症例集積研究</p> <p>Congenital Zika syndrome with arthrogryposis: retrospective case series study BMJ. 2016 Aug 9;354:i3899. doi: 10.1136/bmj.i3899.</p>	翻訳監修	2016年11月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2016/bunken_11ta.html

英国における HIV 感染者の社会経済的要因と抗レトロウイルス治療成績との関連：横断的および縦断的分析 Socioeconomic status and treatment outcomes for individuals with HIV on antiretroviral treatment in the UK: cross-sectional and longitudinal analyses Lancet Public Health,2016; 1: e26-36, http://dx.doi.org/10.1016/S2468-2667(16) 30002-0	翻訳監修	2016年12月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2016/bunken_12ta.html
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 保健所における結核患者コホート検討会 の効用と限界の考察	単独	2016年 5月26日	日本結核病学会	第91回日本結核病学会総会（金沢市）
一般学部の大学生に対する公衆衛生教育とその反応	単独	2016年 8月 7日	日本社会医学会	第57回日本社会医学会総会（滋賀県草津市）
近代大阪における公衆衛生の誕生と戦後の大阪の公衆衛生と大阪公衆衛生協会の歩み	共同	2016年10月 25-28日	日本公衆衛生学会	第75回日本公衆衛生学会総会（大阪市）
大阪圏の結核対策推進のためのパートナーシップ活動の意義と課題	共同	2016年10月27日	日本公衆衛生学会	第75回日本公衆衛生学会総会（大阪市）
(招待講演) 世界の公衆衛生をめぐる動きと日本の状況	単独	2016年 1月23日	全国保健師活動研究会	第48回全国保健師活動研究会報告書, 4-12.
地域保健法以降の保健所・公衆衛生の課題とあり方	単独	2016年10月22日	保健所・公衆衛生を考える全国研究交流会集実行委員会	第18回保健所・公衆衛生を考える全国研究交流会集（品川区）
公衆衛生の中で今、保健師が果たす役割とは	単独	2016年12月21日	大阪府健康医療部	大阪府保健師現任研修「公衆衛生看護基礎研修」（大阪市）
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成28年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 基盤研究 (A)	分担	2015～2017	300 (1800)	食品安全のためのリスクコミュニケーションモデルの開発とプロフェッションの要件
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本公衆衛生学会・評議員 日本結核病学会・代議員 日本社会医学会・理事長				
(社会貢献活動) 大阪大学大学院医学系研究科・非常勤講師 関西看護大学・非常勤講師 大阪府医師会調査委員会・委員 健康おおさか21推進府民会議・委員長 健康おおさか21推進府民会議予防対策検討部会・委員長 大阪府健康づくりアワード審査委員会・委員 大阪府教育委員会事務局・学校保健技師 大阪府感染症審議会 結核対策部会・委員 大阪府死因調査等あり方検討会・委員長 大阪市結核対策評価委員会・委員 大阪府立学校職員健康審査会・常任委員 大阪府立学校結核対策審議会・委員 東大阪市感染症の診査に関する協議会・委員 豊中市市民病院運営審議会・会長				

研 究 業 績

高槻市地域包括ケア推進会議・委員長
高槻市保健医療審議会・委員
高槻市感染症診査協議会・委員
枚方市健康増進計画審議会・会長
堺市健康増進計画懇話会・委員
伊丹市福祉対策審議会・委員
伊丹市保健医療推進協議会健康づくり部会・部会長
公益法人大阪公衆衛生協会・専務理事
公益法人大阪公衆衛生協会・保健企画部会・部会長
ストップ結核パートナーシップ日本・理事
医学書院 雑誌「公衆衛生」・編集委員

■ 高野 一彦

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(論考・研究資料等) 新しい法制度に対応したコンプライアンス・プログラムの定立を	単独	2016年12月	PHP 研究所	衆知2017.1-2号, 66-69頁
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) ビッグデータとしての個人情報の利用と保護に関する課題と提言——個人情報保護委員会が担う役割を中心として——	単独	2016年6月19日	日本経営倫理学会	日本経営倫理学会 第24回研究発表大会 (於東北大学)
グローバルな視点からの情報の利活用とコンプライアンス	単独	2016年3月8日	日本経営倫理学会	日本経営倫理学会 CSR 研究部会 (於電力中央研究所, 東京)
(招待講演) 情報法コンプライアンスと内部統制	単独	2016年12月13日	日本データ通信協会	日本データ通信協会 2016年度情報通信マネジメントシステム研究会 (於ベルサー神保町, 東京)
企業倫理・コンプライアンス経営の重要性	単独	2016年12月10日	大和証券グループ本社株式会社	大和証券グループ本社 2016年度ビジネスエシックス講演 (於大和証券多摩研修センター, 東京)
リスクマネジメント	単独	2016年12月8日	東日本旅客鉄道株式会社	東日本旅客鉄道 設備部リスクマネジメント研修 (於JR 東日本総合研修センター)
コンプライアンス経営の重要性——経営判断から役員・従業員の私生活まで——	単独	2016年11月25日	中日本高速道路株式会社	中日本高速道路 2016年度 部長研修「リスクマネジメント・コンプライアンス」(於NEXCO 中日本人財開発センター, 川崎)
情報管理と業務判断の合理性	単独	2016年10月28日	日清オイリオグループ株式会社	日清オイリオグループ 企業倫理講演会 (於日清オイリオグループ本社ホール)
企業不祥事にどう向き合うか	単独	2016年10月25日	日本経営倫理士協会	日本経営倫理士協会シンポジウム (於渋谷 SI ビル会議室, 東京)
ビッグデータとしての個人情報の利用と保護に関する課題	単独	2016年9月26日	中外製薬株式会社	中外製薬アドバイザリーコミッティー (於中外製薬本社, 東京)
情報の管理と利用——CSR 経営の観点から——	単独	2016年10月11日	日本新薬株式会社	日本新薬 コンプライアンス講演 (於日本新薬本社大ホール, 京都)
コンプライアンス啓発のポイント——企業と社員の関係を中心として——	単独	2016年8月30日	西日本高速道路株式会社	西日本高速道路 コンプライアンス講演 (於西日本高速道路本社会議室, 大阪)
コンプライアンスとリスクマネジメント——グローバル企業としての持続的な発展のために——	単独	2016年8月10日	株式会社アデランス	アデランス・グローバルミーティング コンプライアンス講演 (於アデランス本社会議室, 東京)
マネージャーの為のコンプライアンス——会社と従業員のコンフリクトを中心として——	単独	2016年8月5日	株式会社アデランス	アデランス店長会議 コンプライアンス講演 (於アデランス本社, 東京)
コンプライアンス経営の重要性——経営判断から役員・従業員の私生活まで	単独	2016年8月3日	東邦ガス株式会社	東邦ガス株式会社 コンプライアンス講演会 (於東邦ガス本社ホール, 名古屋)
サイバーセキュリティの最新動向と対策	単独	2016年7月15日	関西大学	関大創立130周年記念シンポジウムでのモデレータ (於日経ホール, 東京)
情報法コンプライアンスと企業の対応	単独	2016年7月11日	アルフレッサ ファーマ株式会社	アルフレッサ ファーマ株式会社 コンプライアンス研修 (於アルフレッサ ファーマ本社講堂, 大阪)
経営判断に必要な法+a	単独	2016年6月15日	株式会社成城石井	成城石井役員勉強会 (於 AP 横浜)
企業を取巻く法・要請の変化と企業の対応	単独	2016年3月17日	中部 CSR 企業連絡会	中部 CSR 企業連絡会研究会 (於日本ガイシ留学生会館, 名古屋)
個人情報の利活用と保護をめぐる情勢と対応	単独	2016年3月16日	全国農業協同組合連合会	全国農業協同組合連合会 コンプライアンス研修 (於全農本社, 東京)
企業を取り巻く法の変化と情報コンプライアンス	単独	2016年2月25日	大阪商工会議所	大阪商工会議所「第3回企業法制委員会」(於大阪商工会議所)

研 究 業 績

資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成28年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C) 延長	代表	平成23～27年, 28年は延長	1,113 (4,100)	「情報法制と企業のコンプライアンスに関する比較研究」
文部科学省 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C)	代表	平成28～30年度	900 (3,500)	「新しい個人情報保護法制とグローバル企業の情報法コンプライアンスの研究」
KDDI 総研 指定寄付	代表	平成28年～	300 (300)	「情報通信の制度・政策に関する研究・教育」
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本経営倫理学会 理事				
情報ネットワーク法学会 監事				
日本リスクマネジメント学会 監事・評議員				
ソーシャルリスクマネジメント学会 理事				
日本リスク研究学会 会員				
企業法学会 会員				
法とコンピュータ学会 会員				
日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 会員				
(社会貢献活動)				
経営倫理実践研究センター 上席研究員 2012年3月～現在				
日本経営倫理士協会 理事 2013年8月～現在				
神戸市 個人情報保護審議会 委員 2016年2月～現在				
株式会社アテランス 社外取締役 2016年5月～現在				
関西電力株式会社 経営監査委員会 社外委員 2014年7月～現在				
公益財団法人 ベネッセこども基金 評議員 2014年11月～現在				
中外製薬株式会社 アドバイザリーコミッティー 2016年1月～現在				
情報法制研究所 参与 2016年5月～現在				
堀部政男情報法研究会 研究代表・理事 2010年4月～現在				
名古屋商科大学大学院マネジメント研究科(MBA) 客員教授 2010年4月～現在				
(その他業績として記載を希望する事項)				
✓2013年度、2014年度、及び2015年度と3年連続で、客員教授を務める名古屋商科大学大学院(MBA)において『ティーチング・アワード』を受賞。				
✓企業のCSRレポートの第三者意見等の執筆 「関西電力グループレポート2016のCSRに関するページを読んで」、所収「関西電力グループレポート2016」2016年、71頁 「第三者意見」、所収「ハウス食品グループCSRレポート2016」2016年、22頁				
✓『「組織と経営」のあり方を情報法・企業法の視点から探求』、所収「関西大学大学院Information 2017」2016年、2頁に掲載				

■ 高橋 智幸

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) TSUNAMI—津波から生き延びるために改訂版	分担執筆	2016年3月10日	丸善出版	沿岸技術研究センター「TSUNAMI」改定編集委員会, pp.250-521, 256-257を担当
(学術論文) AR技術を活用した津波リスクの可視化手法の開発	共著	2016年6月30日	可視化情報学会	可視化情報学会論文集, 亀田知沙, 高橋智幸, Vol.36, No.5, pp.32-39, 査読有
Numerical Simulations of Large-Scale Sediment Transport Caused by the 2011 Tohoku Earthquake Tsunami in Hirota Bay, Southern Sanriku Coast	共著	2016年11月4日	土木学会	Coastal Engineering Journal, K. Yamashita, D. Sugawara, T. Takahashi, F. Imamura, Y. Saito, Y. Imato, T. Kai, H. Uehara, T. Kato, K. Nakata, R. Saka and A. Nishikawa, 査読有
津波波源内の海面擾乱に関する水理実験および数値計算	共著	2016年11月15日	土木学会	土木学会論文集B2(海岸工学), 藤原岳大, 坂本匡史, 高橋智幸, Vol.72, No.2, pp.I_343-I_348, 査読有
津波流入条件と沿岸湖沼地形変化量の関係に関する水理実験	共著	2016年11月15日	土木学会	土木学会論文集B2(海岸工学), 三戸部佑太, 高松怜菜, 今井健太郎, 会田俊介, 高橋智幸, Vol.72, No.2, pp.I_391-I_396, 査読有
複数の移動形態を考慮した災害がれきの発生・移動予測モデルの開発	共著	2016年11月15日	土木学会	土木学会論文集B2(海岸工学), 小園裕司, 高橋智幸, 桜庭雅明, 野島和也, Vol.72, No.2, pp.I_439-I_444, 査読有
津波作用に伴う急拡部における地形変化に関する数値計算	共著	2016年11月15日	土木学会	土木学会論文集B2(海岸工学), 有光剛, 川崎浩司, 高橋智幸, Vol.72, No.2, pp.I_607-I_612, 査読有
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 東日本大震災における宮城県志津川湾の藻場消失に及ぼした津波土砂移動の影響	共同	2016年1月9日	自然災害研究協議会 東北地区部会・日本自然災害学会東北支部	東北地域自然災害科学研究集会, 山下啓, 菅原大助, 今村文彦, 高橋智幸, 福島県杉妻会館, 福島市
Basic hydraulic experiment on the saturated concentration of suspended load due to tsunamis	共同	2016年4月21日	European Geosciences Union	European Geosciences Union General Assembly 2016, Tomoyuki Takahashi and Shiho Somekawa, Vienna, Austraria
天然ゼオライトと酸化チタン粉末を用いたモルタル基盤材料の電気抵抗率と配合	共同	2016年5月10日	セメント協会	第70回セメント技術大会, 勝間田成, 鈴木信一郎, 徳重英信, 高橋智幸, No.1219, 東京都
Modeling of grain size distribution of tsunami sand deposits in V-shaped valley of Numanohama during the 2011 Tohoku tsunami	共同	2016年5月26日	日本地球惑星科学連合	2016年連合大会, Aditya Riadi Gusman, Kenji Satake, Tomoko Goto and Tomoyuki Takahashi, 幕張メッセ国際会議場, 千葉市
Tsunami source of the 2014 Iquique, Chile, earthquake and the tsunami potential on the North Chilean Coast	共同	2016年8月31日	The Asian Civil Engineering Coordinating Council	Civil Engineering Conference in the Asian Region, Yoshihiro Okumura, Tomohiro Takagawa and Tomoyuki Takahashi, Honolulu, USA
津波波源内の断層運動に伴う海面擾乱に関する水理実験および数値計算	共同	2016年9月7日	土木学会	第71回年次学術講演会, 藤原岳大, 坂本匡史, 高橋智幸, 東北大学川内北キャンパス, 仙台市
多数洪水シナリオを用いた最適な破堤間隔に関する数値計算	共同	2016年9月7日	土木学会	第71回年次学術講演会, 大野哲平, 高橋智幸, 東北大学川内北キャンパス, 仙台市
津波氾濫・土砂移動・漂流物移動の平面2次元統合モデルによる津波複合被害の再現計算—東日本大震災の宮城県気仙沼市への適用—	共同	2016年9月21日	日本自然災害学会	第35回日本自然災害学会学術講演会, 山下啓, 嶋原良典, 菅原大助, 有川太郎, 高橋智幸, 今村文彦, 静岡県地震防災センター, 静岡市

研究業績

津波により陸上斜面上に形成される堆積砂分布に関する水理実験	共同	2016年10月18日	土木学会	第36回地震工学研究発表会, 原田賢治, 高橋智幸, 野島和也, 金沢歌劇座, 金沢市
Development of Tsunami Numerical Model Considering the Disaster Debris such as Cars, Ships and Collapsed Buildings	共同	2016年12月14日	American Geophysical Union	AGU Fall Meeting 2016, Yuji Kozono, Tomoyuki Takahashi, Masaaki Sakuraba and Kazuya Nojima, NH34A-01, San Francisco, USA
Tsunami-induced morphological change of a coastal lake: comparing hydraulic experiment with numerical modeling	共同	2016年12月14日	American Geophysical Union	AGU Fall Meeting 2016, Daisuke Sugawara, Kentaro Imai, Yuta Mitobe and Tomoyuki Takahashi, NH34A-08, San Francisco, USA
Activity history of giant earthquakes bring crustal movements and huge tsunamis — A case of the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake (M9) —	共同	2016年12月15日	American Geophysical Union	AGU Fall Meeting 2016, Tsuyoshi Haraguchi, Shoichi Shimoyama, Toshiro Yamanaka, Yuichi Yoshinaga and Tomoyuki Takahashi, NH41A-1769, San Francisco, USA
Modeling of Grain Size Distribution of Tsunami Sand Deposits in V-shaped Valley of Numanohama During the 2011 Tohoku Tsunami	共同	2016年12月15日	American Geophysical Union	AGU Fall Meeting 2016, Aditya Riadi Gusman, Kenji Satake, Tomoko Goto and Tomoyuki Takahashi, NH43B-1839, San Francisco, USA
Hydraulic experiment on tsunami sand deposits relating with grain size distribution and magnitude of incident waves	共同	2016年12月15日	American Geophysical Union	AGU Fall Meeting 2016, Aki Yamamoto, Tomoyuki Takahashi, Kenji Harada and Kazuya Nojima, NH43B-1849, San Francisco, USA
(招待講演) Tsunami mitigation measures menu	単独	2016年1月12日	国土交通省港湾局・港湾空港技術研究所・JST・JICA・沿岸技術研究センター	Joint Symposium on Tsunamis of the Sixth Chile-Japan Symposium on Tsunami Disaster Mitigation and the Fifteenth International Workshop on Coastal Disaster Prevention, 東京都
東日本大震災の反省, そしてこれからの津波防災	単独	2016年1月28日	気仙沼市	気仙沼市防災フォーラム〜津波防災研究の最前線〜, 気仙沼中央公民館
東日本大震災を踏まえた今後の津波防災・減災のあり方	単独	2016年11月4日	津波防災・減災技術シンポジウム実行委員会・関西大学社会安全学部	津波防災・減災技術シンポジウム〜海洋レーダの常時活用から津波モニタリングまで〜, 大阪市
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成28年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(S)	分担	2012~2016年	0 (0)	「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策
神戸市研究教育拠点(COE)形成推進事業	分担	2013~2017年	1,800 (63,491)	関西地域を対象とした都市防災の計算科学研究——地震津波と集中豪雨被害のハザードマップの作成——
文部科学省委託事業南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト	分担	2013~2017年	0 (0)	巨大地震発生域調査観測研究
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(B)	分担	2016~2018年	500 (1,825)	仮想津波観測実験に基づく海洋レーダ津波計測性能検証と津波防災への展開
総務省戦略的情報通信研究開発推進事業	分担	2016~2018年	5,000 (10,850)	面的リアルタイム津波観測技術(津波レーダ)の開発
原子力規制委員会原子力施設等防災対策等委託費	代表	2016年	49,169 (49,169)	津波堆積物に基づく津波波源推定手法の開発
東北大学災害科学国際研究所リソースを活用した共同研究助成	代表	2016年	950 (950)	津波統合モデル解析の高度化
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本土木学会				
日本地震学会				

日本自然災害学会

日本災害情報学会

可視化情報学会

American Geophysical Union

(社会貢献活動)

土木学会 原子力土木委員会 委員

土木学会 原子力土木委員会 津波評価小委員会 委員長

土木学会 海岸工学委員会 委員

土木学会 海岸工学委員会 津波作用に関する研究レビューおよび活用研究小委員会 委員長

土木学会 海岸工学委員会 論文集編集小委員会 委員

土木学会 減災アセス小委員会 委員

土木学会 海洋開発論文集査読小委員会 委員

日本自然災害学会 編集委員会 委員

The IUGG Joint Tsunami Commission Member

Journal of Disaster Research Editorial Board Member

International Tsunami Symposium 2017 Committee Member

文部科学省 地震調査研究推進本部 専門委員

国土交通省 東北地方整備局リバーカウンセラー

大阪府 河川構造物等審議会 委員

大阪府 地震・津波被害想定等検討部会 委員

島根県 地震津波防災対策検討委員会 委員

沖縄県 沖縄県における比較的頻度の高い津波（L1津波）設定検討に係るアドバイザー

大阪市 港湾審議会 委員

高槻市 水害・土砂災害ハザードマップ検討委員会 委員

吹田市 総合計画審議会 委員

特定非営利活動法人大規模災害対策研究機構 理事

財団法人防災研究協会 非常勤研究員

研究業績

■ 土田 昭 司

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) Changes in the factors influencing public acceptance of nuclear power generation in Japan since the 2011 Fukushima Daiichi Nuclear Disaster.	共著	2016年1月	Wiley	Risk Analysis: vol. 36, No. 1, 98-113. (co-authors: Tsujikawa, N., Shionani, T.) [DOI: 10.1111/risa.12447] (査読有)
リスクコミュニケーションと社会心理学	単著	2016年2月	民事法研究会	近藤恵嗣(編)『新技術活用のための法工学：リスク対応と安全確保の法律』135-156.
Social capital, mutual aids in disaster, and evaluation on neighborhood's disaster preparation: Comparison between the States of Volunteer-firefighter and the States of Career-Firefighter in the United States.	共著	2016年3月	社会安全研究センター	社会安全学研究：第6号，21-38. (塩谷尚正・辻川典文・中川由理と共著) (査読有)
Migration intentions and their determinants: Comparison of college students in China and Japan.	共著	2016年3月	Sage	Asian and Pacific Migration Journal, 25 (1): 62-84. (Coauthors: He, Z., Zhai, G., Asami, Y.) [DOI: 10.1177/0117196815621203] (査読有)
福島第一原発事故後のリスクコミュニケーション	単著	2016年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部(編)『東日本大震災 復興5年の検証：復興の実態と防災・減災・縮災の展望』308-332.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 存在脅威管理理論における不謹慎意識、所属意識、他者関係希求への効果	共同	2016年9月1日	日本応用心理学会	日本応用心理学会 第83回大会(札幌市立大学 [北海道札幌市]) (大西麻仁と共同)
リスクコミュニケーション場面における信頼の規定因に見透かされ感が与える影響	共同	2016年9月1日	日本応用心理学会	日本応用心理学会 第84回大会(札幌市立大学 [北海道札幌市]) (静間健人と共同)
態度の見抜かれ感が信頼評価に与える影響	共同	2016年9月18日	日本社会心理学会	日本社会心理学会 第57回大会(関西学院大学 [兵庫県西宮市]) (静間健人と共同)
Investgating Risk Communication at Fukushima-Daiichi NPP Accident.	単独	2016年12月12日	The Society for Risk Analysis	The Society for Risk Analysis, Annual Meeting 2016 [San Deigo, USA]
(招待講演) 原子力研究開発教育とリスク認知・コミュニケーション	単独	2016年1月5日	東京大学	東京大学大学院工学研究科 先進原子力特別講義第三 (東京大学 [東京都文京区])
リスクコミュニケーション	単独	2016年1月26日	環境省	低炭素社会の構築に向けた二酸化炭素回収・貯留(CCS)国際シンポジウム (THE GRAND HALL [東京都港区])
リスクコミュニケーションとは？	単独	2016年2月15日	電源開発株式会社	平成27年度リスクコミュニケーション研修(大間原子力建設所 [青森県大間町])
原子力利用にかかわる認知とコミュニケーションについて	単独	2016年3月4日	日本原子力学会	日本原子力学会社会・環境部会 第9回マスメディアとの交流会(日本原子力学会 [東京都港区])
安全心理学：エラー行動の分類とその心理	単独	2016年3月5日	日本医療安全学会	日本医療安全学会 第2回学術総会(東京大学 [東京都文京区])
安全とリスクの心理学	単独	2016年7月11日	安全安心科学アカデミー	放射線安全管理士資格認証講習(安全安心科学アカデミー [大阪府大阪市])
安全とリスクの心理学	単独	2016年8月8日	安全安心科学アカデミー	放射線安全管理士資格認証講習(安全安心科学アカデミー [大阪府大阪市])
安全とリスクの心理学	単独	2016年8月18日	安全安心科学アカデミー	放射線安全管理士資格認証講習(安全安心科学アカデミー [大阪府大阪市])

社会安全学研究 第7号

リスクマネジメント研修	単独	2016年9月13日	経済産業省	平成28年度安全性向上原子力人材育成事業 リスクマネジメント研修 (若狭湾エネルギー研究センター [福井県敦賀市])
原子力の平和利用とリスクコミュニケーション	単独	2016年10月25日	東京大学	東京大学大学院工学研究科 先進原子力特別講義第三 (東京大学 [東京都文京区])
リスク認知とコミュニケーション	単独	2016年11月15日	日本原子力産業協会	原子力システム研究懇話会 第259回定例懇話会 (日本原子力産業協会 [東京都千代田区])
Communication and collaboration in diversity of risk researches in East Asia	単独	2016年11月26日	日本リスク研究学会	日本リスク研究学会 第29回年次大会 (ホルトホール大分 [大分県大分市])
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成28年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 東北電力株式会社「受託研究」	代表	2016年度	1,547 (1,547)	EMFコミュニケーションの動向調査研究
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本リスク研究学会				
The Society for Risk Analysis				
日本心理学会				
日本社会心理学会				
日本グループ・ダイナミックス学会				
日本応用心理学会				
日本行動計量学会				
日本原子力学会				
日本消費者行動研究学会				
(社会貢献活動)				
The Society for Risk Analysis, Councilor				
(一社) 日本原子力学会, 社会・環境部会部会長				
(公益財) JR西日本あんしん社会財団, 「事業審査評価委員会」委員				
(財) 電気安全環境研究所, 経済産業省パンフレット「電磁界と健康」監修委員				
(財) 電気安全環境研究所, 「情報提供委員会」委員				
(財) 電気安全環境研究所, 「電磁界情報センター専門家ネットワーク」メンバー				
(財) 大阪科学技術センター, 「電磁界 (EMF) に関する調査研究委員会」委員				
高槻市, 「高槻市消費者教育推進研究会」オブザーバー				

■ 永松伸吾

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) データでみる東日本大震災 ― 復興過程の現状と課題	単著	2016年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編『東日本大震災復興5年目の検証 ― 復興の実態と防災・減災・縮災の展望』pp.31-49
(学術論文) 災害リスク情報と不動産市場のヘドニック分析	単著	2016年2月	内閣府経済社会総合研究所	ESRI Discussion Paper Series, No.327, 47p, 2016
Targeting Vulnerable People with a Social Safety Net: Lessons from the CFW program for the 2011 Great East Japan earthquake and Tsunami Disaster	単著	2016年10月	富士技術出版	Journal of Disaster Research, Vol.11, No.5, pp. 926-934, 査読有
自治体の災害時応援職員は現場でどのように調整されたか ― 2011年南三陸町の事例 ―	共著	2016年11月	地域安全学会	『地域安全学会論文集』No.29, pp.125-134 (永松伸吾, 越山健治著共著 全編執筆, 査読有)
(その他, 論考・研究資料等) 初動期における行政職員の人的支援のあり方に関するアンケート調査: 南三陸町を事例として	共著	2016年3月	(公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構研究調査本部	『災害時における広域連携支援の考察』研究調査報告書, pp.67-102 (永松伸吾, 越山健治著共著 (全編執筆))
米国から見たフクシマ	単著	2016年4月	日本災害情報学会	『日本災害情報学会ニュースレター』No.65, p.3
被災地での緊急雇用はどのような被災者を雇ったのか<特集 ― 東日本大震災から5年>	共著	2016年3月	独立行政法人労働政策研究・研修機構	Business labor trend, 2016-03, pp.33-35
第15章15-10 家畜伝染病	単著	2016年11月	朝倉書店	日本災害情報学会編『災害情報学辞典』第15章15-10項目執筆
もやもやを大事に ― 災害から参議院選挙を考える ―	単著	2016年6月	Synodos	Synodos Journal
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 復興事業は復興を促進しているか ― 被災市町村によるパネル分析	単独	2016年10月2日	日本災害復興学会	日本災害復興学会2016年度石巻大会, 於石巻専修大学
自治体の災害時応援職員は現場でどのように調整されたか ― 2011年南三陸町の事例 ―	共同	2016年11月5日	地域安全学会	地域安全学会2016年度第39回研究発表会(秋季), 於静岡県地震防災センター
巨大災害からの復興と財政負担	単独	2016年11月25日	「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策	「国難」となる巨大災害の被災シナリオ研究会, 於関西大学東京センター
(セミナー) Policy analysis on disaster recovery from 2011 Tsunami and nuclear disaster in Tohoku, Japan	単独	2016年8月2日	IIASA	International Institute for Applied System Analysis, Vienna.
Cost benefit analysis of recovery policy options from nuclear disasters: A framework and a case study of 2011 Fukushima accident.	単独	2016年9月1日	CREATE, University of Southern California.	CREATE Seminar Series, University of Southern California, Los Angeles.
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成28年度の研究経費(期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科研費挑戦的萌芽研究	代表	2015~2016年度	700 (2400)	国土再編に資するマルチハザード型災害リスク指数の開発
科学研究費(基盤S)	分担	2012~2016年度	1350 (5000)	「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策

社会安全学研究 第7号

文部科学省都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト「都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究」チーム	分担	2012～2016年度	1500 (7500)	都市災害の経済シナリオ作成
科学研究費（基盤B）	分担	2016～2018年度	730	自然災害安全性指標（GNS）構築のための脆弱性評価の確立と防災戦略への反映
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本公共政策学会，日本経済学会，日本計画行政学会，地域安全学会，日本自然災害学会，日本リスク研究学会，日本災害復興学会，日本行政学会，日本災害情報学会				
(社会貢献活動)				
一般社団法人 キャッシュ・フォー・ワーク・ジャパン 代表理事				
地域安全学会 学術委員				
日本災害復興学会 企画委員長				

研 究 業 績

■ 中 村 隆 宏

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(その他、論考・研究資料等) 事故事例から探るアクセル・ブレーキ踏み間違え事故	共著	2016年3月	国際交通安全学会	アクセルとブレーキの踏み違いに関係する高齢者の認知・行動特性の分析 平成27年度研究調査報告書 (H2757) 4-13, 篠原一光ほか 編, 真鍋貴也 共著
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(招待講演) 危険感受性を考える ― 研究と実践のはざまから ―	単独	2016年10月21日	中央労働災害防止協会	第75回全国産業安全衛生大会安全衛生教育分科会, 仙台国際センター会議棟 大会議室 橘
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成28年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 国際交通安全学会 自主研究調査プロジェクト 関西大学 先端科学技術推進機構研究グループ	分担 代表	平成28年度 平成28年度～平成30年度	2,500 (7,500)	アクセルとブレーキの踏み違いに関係する高齢者の認知・行動特性の分析 巨大自然災害の防災減災対策と復興復旧過程に関する調査研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本心理学会 正会員 日本応用心理学会 正会員 日本人間工学会 正会員 日本交通心理学会 正会員 産業組織心理学会 正会員 日本ヒューマンインタフェース学会 正会員 土木学会 正会員 電子情報通信学会 安全性研究専門委員会専門委員 正会員 日本航空医療学会 正会員 日本プラント・ヒューマンファクター学会 正会員				
(社会貢献活動) 東北大学大学院 東北電力受託研究プロジェクト「組織安全と現場における作業実態と手順書の関係に着目したヒューマンファクタ研究」技術情報交換研究会 2016年4月～ 東京電力パワーグリッド株式会社 人身災害防止に向けた安全活動の指導支援 2016年4月～ 東京電力ホールディングス株式会社 ビジネスソリューション・カンパニー 人材・組織開発センター 平成28年度「安全教育研修」の実施に伴う指導・評価 2016年5月～ 中部電力株式会社 中部電力株式会社における安全管理に関する指導 2016年5月～ 一般社団法人大阪自動車学校協会 指定自動車教習所職員講習 講師 2016年6月1日～11月30日 茨城経営者協会 第6回「ヒューマンエラー防止セミナー」講師 2016年10月28日 新日鐵住金株式会社 鹿島人材育成センター 一般社団法人全国登録教習機関協会 高所作業車運転業務従事者「危険再認識教育」に係る講師養成研修 講師・総合指導 2016年8月4日～5日				
(その他業績として記載を希望する事項) 講演「ヒューマンファクターと交通事故の防止」 関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科主催第7回東京シンポジウム「これからの交通社会と事故防止 ―バス・タクシー・トラック・営業車の安全を考える―」 2016年11月11日 関西大学東京センター				

■ 西 村 弘

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨
(著書) 東日本大震災 復興5年目の検証	分担執筆	2016年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編, 第3章「ライ フラインの復旧・復興と残された課題」 (安部誠治との共著), pp.71-92
(学術論文) 交通経済学と交通論 — 交通学における学 (エピステーメ) と 知慮 (フロネーシス) — 交通政策の提言	単著 単著	2016年3月 2016年7月	日本交通学会 交通運輸政策研究会	『交通学研究 / 2015年研究年報』pp.85-92 (査読有) 『交通政策の提言 2016 — 人口減・災 害多発時代の日本の交通 —』pp.4-11
(その他, 論考・研究資料等) シンガポールのタクシー事情	共著	2016年9月	交通運輸政策研究会	『シンガポールの交通事情』pp.42-9
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本交通学会 (理事) 日本海運経済学会 (評議員) 港湾経済学会 交通権学会 (理事) 公益事業学会 日本物流学会 日本環境会議 (理事)				
(社会貢献活動) 公益財団法人 公害地域再生センター (通称: あおぞら財団) 評議員 高槻市産業振興審議会委員 京都市域タクシー準特定地域協議会会長 広島交通圏タクシー特定地域協議会会長				

研究業績

■ 林 能 成

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 東日本大震災 復興5年目の検証: 復興の実態と防災・減災・縮災の展望	分担執筆	2016年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編. 第5章「東日本大震災後の地震学と地震防災」(p.117-135).
(学術論文) 上町断層帯地震による地殻変動に伴う東部大阪の氾濫リスクへの影響	共著	2016年11月	日本地震工学会	日本地震工学会論文集, Vol.16, No.10, 10_51-10_68 江原竜二・河田恵昭・林能成
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 地球科学における学際的分野への参入過程～革新的研究者のオーラルヒストリーから～	共同	2016年2月24日	京都大学防災研究所	平成27年度京都大学防災研究所研究発表講演会, 宇治おうばくプラザ
先駆的研究者のオーラルヒストリーから探る地震・火山分野の人材育成モデル	共同	2016年3月15日	東京大学地震研究所	「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」平成27年度成果報告シンポジウム, 東京大学武田先端知ビル
「縫い目のない地球科学」としての市民研究	単独	2016年5月22日	日本地球惑星科学連合大会	日本地球惑星科学連合大会, 幕張メッセ
地球物理学者による社会貢献の一形態～国土科学と住み込み研究～	単独	2016年10月7日	日本地震学会	日本地震学会秋季大会, 名古屋国際会議場
稍深発地震のためオンサイト警報基準検討	共同	2016年10月6日	日本地震学会	日本地震学会秋季大会, 名古屋国際会議場
(招待講演) 地震・津波発生メカニズムと実態(事例)	単独	2016年1月21日	内閣府	平成27年度第2期, 有明の丘基幹的広域防災拠点施設
巨大地震への備え～防災専門家から見た事業継続計画～	単独	2016年2月10日	日本金属プレス工業協会	第6回安全・環境シンポジウム, イオンコンパス名古屋駅前会議室
地震と鉄道	単独	2016年3月26日	京都大学防災研究所	あぶやま・まんてん地球子屋, 阿武山地震観測所
地震予知の功罪を考える	単独	2016年6月2日		第3回震災対策技術展 グランフロント大阪
簡易地震計ネットワークの展開と活用についての一考察～台湾と日本の比較から～	単独	2016年6月10日	IT強震計研究会	第25回IT強震計研究会, 東京大学地震研究所
地震から新幹線を守れ! —地震を知る, 使う, 備える—	単独	2016年8月18日	丸の内キッズジャンボリー	丸の内キッズジャンボリー2016 東京国際フォーラム
地震・津波発生メカニズムと実態(事例)	単独	2016年9月5日	内閣府	平成28年度第1期, 有明の丘基幹的広域防災拠点施設
地震・津波情報と避難～緊急地震速報と津波警報～	単独	2016年11月17日	高知大学	高知大学共通教育教養科目「災害と生きる」高知大学
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成28年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 京都大学防災研究所特別緊急共同研究	分担	2016年8月～2017年3月	150 (150)	2016年熊本地震における地表地震断層ごく近傍における強震動の実態把握
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本地震学会, 代議員, 大会・企画委員, 「地震」編集委員, 海外渡航旅費助成金審査委員 歴史地震研究会, 総務委員長 American Geophysical Union Seismological Society of America 日本地球惑星科学連合, 代議員				

日本災害情報学会

(社会貢献活動)

静岡大学防災総合センター客員教授 (2016-).

公益社団法人日本地震学会, 代議員 (2006-).

日本地球惑星科学連合, 代議員 (2016-).

歴史地震研究会, 総務委員長 (2015-).

日本金属プレス工業協会, 理事 (2016-), 安全環境委員会・委員 (2013-).

中部電力, 原子力安全技術研究所 アドバイザリ・コミッティ委員 (2013-).

研究業績

■ 広瀬 幸雄

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨
(著書) 東日本大震災 復興5年目の検証	分担執筆	2016年3月	ミネルヴァ書房	編者関西大学社会安全学部 第14章 290-307頁 原発事故による社会経済問題への消費者・市民の反応
(学術論文) Environmetal education by playing an industrial waste game: A comparison between Chinese, Korean, and Japanes university students	共著	2016年	Springer	Maeda,H.,Hirose,Y.& Ohana,K., Simulation and gaming in the network society, Kaneda,T.et al. (eds.), 357-368. (査読有)
フランスにおける高レベル放射性廃棄物地層処分施設の立地受容の規定因	共著	2016年	社会技術研究	社会技術研究, 13号, 86-95頁 大澤英昭・大沼進・大友章司・広瀬幸雄 (査読有)
(その他, 論考・研究資料等) Action Program to Develop Community Recycling System by Environmental Volunteers	単著	2016年	関西大学社会安全学部	社会安全学研究, 6号, 81-91頁 (査読無)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(講演) Citizen participation and consensus building in environmental planning after the Fukushima nuclear accident	単独	2016年2月14日	広島大学	The 5th international symposium of revitalization strategies after radiation disaster, Hiroshima University
(口頭発表) 指定廃棄物の処分場立地調査受容の規定因への感情の調整効果	共同	2016年9月18日	日本社会心理学会	第57回社会心理学会大会 関西学院大学
指定廃棄物処分立地ゲームの作成: 無知のヴェールは合意形成を促進するのか	共同	2016年11月13日	日本シミュレーション&ゲーミング学会	日本シミュレーション&ゲーミング学会 2016年度秋季大会 名古屋工業大学
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成28年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究B	代表	2016年~2018年	4290千円 (14000千円)	高レベル放射性廃棄物地層処分の合意形成での手続き的・分配的公正機能の日欧比較
科学技術融合振興財団調査研究助成金	代表	2015年~2016年	840千円 (840千円)	多段階の公正な手続きプロセスを含むゲーミングを用いたNIMBY型公共事業の合意形成に関する研究
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本シミュレーション&ゲーミング学会, 日本社会心理学会, 日本心理学会, 土木学会, 日本リスク研究学会				

■ 山 川 栄 樹

発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 洪水に見舞われた滋賀県の水田における大型鰓脚類の分布の拡大について	共同	2016/12/18	近江地域学会 生きもの豊かな農村 づくり研究会	第7回 琵琶湖地域の水田生物研究会 滋賀県立琵琶湖博物館ホール
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本オペレーションズ・リサーチ学会, システム・制御・情報学会				
(社会貢献活動) 日本オペレーションズ・リサーチ学会関西支部運営委員				

研究業績

■ 山崎 栄一

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 東日本大震災復興5年目の検証	分担執筆	2016年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編 第8章 被災者支援の法制度 171～187頁
災害対応ハンドブック	分担執筆	2016年5月	法律文化社	野呂雅之・津久井進・山崎栄一編 避難生活（災害救助法等） 58～60頁
緊急事態条項の何が問題か	分担執筆	2016年5月	岩波書店	関西学院大学災害復興制度研究所編 解説 ix～xv 頁
Asian Law in disasters	分担執筆	2016年5月	Routledge	Legislation to support disaster victims in Japan pp.163-177
(学術論文) 災害時要配慮者の支援と課題	単著	2016年3月	ぎょうせい	法律のひろば 69巻3号 13～20頁
災害時における個人情報の利活用	単著	2016年11月	ぎょうせい	自治体法務研究 No.47 16～21頁
(その他、論考・研究資料等) わたしの災害復興研究と分野における深化（法律学）——被災者支援法制の領域を中心に	単著	2016年11月	日本災害復興学会	復興17号 19～22頁
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 法学的な観点から	単独	2016年3月21日	福島 放射線教育フォーラム	「原発事故に関わる教育現場でのリスク管理および放射線教育」フォーラム コラッセ福島
防災教育における法教育の現状	共同	2016年5月22日	地球惑星科学連合	2016年地球惑星科学連合大会 災害を乗り越えるための「総合的防災教育」 幕張メッセ国際展示場 岡田夏美と共同発表
行政法学・震災法制の視点から	単独	2016年5月28日	日本法社会学会	2016年度日本法社会学会学術大会 ミニシンポジウム 東日本大震災の法的対応：5年目の暫定評価 立命館大学
災害救助法の制度改正に向けて	単独	2016年9月9日	避難所・避難生活学会	第2回避難所・避難生活学会 御茶ノ水ソラシティーカンファレンスセンター
災害ケースマネジメントの創設を通じた被災者生活再建支援制度の向上——被災者生活再建支援法の改正をめざして——	コメンテーター	2016年10月1日	日本災害復興学会	日本災害復興学会2016年度石巻大会 石巻専修大学
(招待講演) 被災者生活再建支援制度について	単独	2016年1月22日	滋賀県	住家の被害認定業務に係る研修会 滋賀県庁
災害と法	単独	2016年1月25日	明石工業高等専門学校	明石工業高等専門学校
避難行動要支援者の避難支援	単独	2016年2月6日	芦屋市	平成27年度芦屋市防災士養成講座 本庁舎東館3階大会議室1、2
災害時要援護者台帳の作成と活用法	単独	2016年2月27日	堺市	平尾校区 地区防災計画の事前調査モデル事業報告会 堺市立平尾小学校
災害対策基本法で市民は守れるか——市町村の役割と課題	単独	2016年6月2日	震災対策技術展	コングレコンベンションセンター（グランフロント大阪内）
災害関連法体系基礎	単独	2016年6月3日	人と防災未来センター	災害対策専門研修（自治体職員向け）人と防災未来センター
被災者支援の法制度	単独	2016年6月9日	関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科	平成28年度社会安全学部連続セミナー 東日本大震災 復旧・復興5年目の検証 関大東京オフィス
自然災害における地元建設企業の役割	単独	2016年7月15日	埼玉県建設業協会北本支部	埼玉県県民活動総合センター
避難行動要支援者の避難支援「個別計画」の作成に至るまでの過程	単独	2016年7月25日	沖縄県	沖縄県市町村職員研修会 沖縄県市町村自治会館 大会議室
災害と法	単独	2016年8月2日	奈良工業高等専門学校	奈良工業高等専門学校

社会安全学研究 第7号

被災者の生活支援制度と災害時要配慮者対策	単独	2016年8月6日	兵庫県	平成28年度丹波地域ひょうご防災リーダー講座 柏原住民センター
被災者の生活支援制度と災害時要配慮者対策	単独	2016年8月7日	兵庫県	平成28年度中播磨地域ひょうご防災リーダー講座 兵庫県姫路総合庁舎内 職員福利センター 3階大会議室
学校における防災教育・防災管理について	単独	2016年8月9日	関西大学	平成28年度大阪府・大阪市教員対象研修講座 ミューズキャンパス M602教室
災害と法	単独	2016年8月25日	大阪工業高等専門学校	大阪工業高等専門学校
災害救助法と被災者支援	単独	2016年9月7日	大分県防災活動支援センター	大分県社協防災士養成研修 大分県総合社会福祉会館
被災者の生活支援制度と災害時要配慮者対策	単独	2016年11月12日	兵庫県	平成28年度ひょうご防災リーダー講座 兵庫県広域防災センター
災害時要配慮者対策と被災者支援	単独	2016年11月13日	和歌山県	平成28年度地域防災リーダー育成講座 「紀の国防災人づくり塾」 那賀総合庁舎 3階大会議室
地域における災害時要配慮者対策	単独	2016年11月21日	ひょうご安全の日県民会議	ひょうご安全の日推進県民会議大会 ラッセルホール2階 ローズサルーン
災害時要配慮者対策と被災者支援	単独	2016年11月27日	和歌山県	平成28年度地域防災リーダー育成講座 「紀の国防災人づくり塾」 田辺市交流文化センター「たなべる」 2階大会議室
被災者支援の法制度	単独	2016年12月9日	関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科	平成28年度社会安全学部連続セミナー 東日本大震災 復旧・復興5年の検証 関西大学梅田キャンパス8階ホール
熊本地震における被災者支援策について	単独	2016年12月17日	神戸大学 都市安全研究センター	第216回神戸大学RCU S S オープンゼミナール 神戸市役所4号館(危機管理センター)1階会議室
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成28年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
基盤研究(B)	分担	2013年度～2016年度	100	アジア諸国の災害管理・復興に資する法制度構築の提言型学術調査
基盤研究(B)(海外学術調査)	分担	2018年度～2020年度	400	被災者支援レジーム／復興まちづくりの国際比較——ジェンダーの視点から
基金基盤研究(C)(一般)	分担	2014年度～2016年度	360	住宅再建にかかる公的支援を補完するシステムの制度化——復興基金・義援金の役割に着目して——
挑戦的萌芽研究	分担	2014年度～2016年度	100	日本の学校教育における防災教育の体系化、スタンダードの構築
都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト(文部科学省)	分担	2012年度～2016年度	800	都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究
教育研究緊急支援経費(関西大学)	代表	2016年度	1100	熊本地震災害から見た日本の災害対策
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本公法学会 日本社会保障法学会 日本公共政策学会 日本災害復興学会(理事 学会誌編集委員会委員長 法制度委員会副委員長) 日本災害情報学会 地域安全学会 日本火災学会 地区防災計画学会(幹事)				
(社会貢献活動)				
総務省消防庁 予防行政のあり方に関する検討会 委員 関西広域連合 我が国の防災・減災体制のあり方に関する懇話会 委員 大分県再生可能エネルギー導入評価委員会 委員				

研 究 業 績

高槻市行財政改革推進委員会 委員

大阪府立大学評価委員会 委員

NPO 法人 障害者自立支援センター ドリームロード 監査

■ 桑 名 謹 三

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 東日本大震災 復興5年目の検証	分担執筆	2016年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編 第9章 東日本大震災と保険 188~208頁
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 懲罰的損害賠償の経済学的根拠	単独	2016年7月1日	PL研究学会	PL研究学会第2回大会 板橋グリーンホール
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本保険学会 日本公共政策学会 日本経済政策学会 環境経済・政策学会 環境法政策学会 環境科学会 法と経済学会 PL研究学会				
(社会貢献活動) NPO 法人環境自治体会議環境政策研究所 客員研究員				

研 究 業 績

■ 河 野 和 宏

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(その他、論考・研究資料等) キャンバスクラウド化の現状	共著	2016年7月	関西大学インフォメーションテクノロジーセンター	関西大学インフォメーションテクノロジーセンター年報2015, No.6, P13-32 (査読なし)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 動的シーンにおける時系列モデルを用いた映像改ざん検出	共同	2016年3月2日	電子情報通信学会	電子情報通信学会技術研究報告, EMM2015-80, P25-30, 屋久島環境文化村センター (荻田成樹, 河野和宏, 馬場口登) (査読なし)
推薦対象の属性から構築した階層構造を用いたTF-IDF法による匿名化処理	共同	2016年3月2日	電子情報通信学会	電子情報通信学会技術研究報告, EMM2015-81, P31-36, 屋久島環境文化村センター (新井健介, 河野和宏, 馬場口登) (査読なし)
長期の心拍データ系列による所有者認証	共同	2016年3月15日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2016年総合大会, D-21-6, P219, 九州大学 (吉田崇晃, 河野和宏, 馬場口登) (査読なし)
小中学校の道徳の教科書を用いた情報モラル教育の分析	共同	2016年3月15日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2016年総合大会, D-15-6, P185, 九州大学 (村上巧明, 寺嶋奈央, 成宮良, 平井裕心, 片山知明, 菊池伶美, 佐貫優貴美, 山上夏実, 河野和宏) (査読なし)
GBS理論に基づく小中学生向け情報モラル教材の設計に向けて	共同	2016年3月15日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2016年総合大会, D-15-7, P186, 九州大学 (成宮良, 寺嶋奈央, 村上巧明, 平井裕心, 片山知明, 菊池伶美, 佐貫優貴美, 山上夏実, 河野和宏) (査読なし)
メディア別に見た情報セキュリティに対する意識の分析	共同	2016年3月16日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2016年総合大会, A-12-5, P177, 九州大学 (砂野大気, 河野和宏) (査読なし)
居眠り運転防止に向けたウェアラブルデバイスによる睡眠状態の管理に関する一考察	共同	2016年3月16日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2016年総合大会, A-13-3, P184, 九州大学 (下山直樹, 河野和宏) (査読なし)
日常生活における生体認証の脆弱性に関する一考察	共同	2016年3月16日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2016年総合大会, A-13-4, P185, 九州大学 (飯田翔子, 河野和宏) (査読なし)
ウェアラブル端末から得られる長期心拍データ系列に着目したマルチモーダル所有者認証	共同	2016年5月19日	電子情報通信学会	電子情報通信学会技術研究報告, EMM2016-9, P49-54, 小樽経済センター (吉田崇晃, 河野和宏, 馬場口登) (査読なし)
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成28年度の研究経費 (期間全体の額) (単位: 千円)	研究テーマ
(競争的資金) 日本学術振興会・科学研究費補助金・若手研究 (B)	代表	2015~2017	800,000円 (2,300,000円)	セキュリティ意識向上に向けた習熟度別・年代別学習システムの開発
日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究 (S)	連携研究者	2016~2020	0円 (0円)	メディアクローン攻撃を防御するコミュニケーション系
以下、フリー記入				
(所属学会) 電子情報通信学会 (IEICE) 情報処理学会 (IPSJ) 地域安全学会 (ISSS) 日本信頼性学会 (REAJ)				

公益事業学会 (JSPU) The Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Association for Computing Machinery (ACM)
(社会貢献活動) 電子情報通信学会, マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究専門委員会 (EMM 研), 専門委員 (2016年4月1日～) 夢ナビライブ2016「あなたの個人情報は大丈夫? 漏えいを考える」(2016年6月18日) 関西大学創立130周年記念シンポジウム「サイバーセキュリティの最新動向と対策」パネリスト, 日経ホール (2016年7月15日) 関西大学教員免許状更新講習「安全教育: 防災と情報セキュリティ」(2016年8月2日) 関西大学 Kan-Dai 3 セミナー「社会安全学部セミナー～身近な社会の安全・安心を科学する: 指紋認証システムは本当に破れない? — 身近な情報セキュリティ技術の安全性を考える」(2016年12月17日)
(その他業績として記載を希望する事項) 関西大学 IT センター副所長 (2016年10月～)

社会安全学研究 第7号

アンコール遺跡砂岩とラテライトの風化レベルと強度	共同	2016年9月13 ～15日	地盤工学会	第51回地盤工学会研究発表会, 岡山大学, 岡山市, 福田光治, 岩崎好規, 本郷隆夫, 小山倫史, 桑島流音, 中川武, 石塚充雅, 講演概要集, pp.133-134
ブレア・ヴィヘア寺院第三ゴープラにおける地盤調査と石積構造物の変状分析	共同	2016年9月13 ～15日	地盤工学会	第51回地盤工学会研究発表会, 岡山大学, 岡山市, 桑島流音, 小山倫史, 橋本涼太, 福田光治, 岩崎好規, 石塚充雅, 講演概要集, pp.137-138
豪雨時の斜面表層流発生に関する課題研究 — 斜面表層流監視カメラの開発 —	共同	2016年9月13 ～15日	地盤工学会	第51回地盤工学会研究発表会, 岡山大学, 岡山市, 中井卓巳, 越智稔, 岸本英明, 藤本将光, 小山倫史, 講演概要集, pp.1621-1622
道路の裏面における現地計測に基づいた土砂災害警戒危険情報の検討	共同	2016年9月13 ～15日	地盤工学会	第51回地盤工学会研究発表会, 岡山大学, 岡山市, 5. 藤本将光, 深川良一, 渡邊義裕, 小山倫史, 倉岡千郎, 徳永博, 中井卓巳, 丸木義文, 安藤貴志, 小林猛嗣, 講演概要集, pp.1617-1618
(招待講演) これからの防災・減災対策	共同	2016年1月21日	関西大学社会安全学部	第20回先端科学技術シンポジウム, パネルディスカッション「巨大自然災害に対する社会安全システム」, 関西大学100周年記念館特別会議室
CFD-DEM simulations for dynamic injection of cement-based grout	単独	2016年3月14日	GSS program, Kyoto University & JCRM	GSS Seminar: THMC numerical modeling in engineered geologies, 京都, 京都大学桂キャンパスCクラスター, C1-171会議室
東日本大震災における液状化被害	単独	2016年4月21日	関西大学社会安全学部	平成28年度 社会安全学部・連続セミナー「東日本大震災 復旧・復興5年の検証」(第3回), 東京, 関西大学東京センター
斜面安定の解析と現場計測技術	単独	2016年6月17日	地盤工学会関西支部	地盤工学会関西支部第3回若手セミナー, 大阪, ドーンセンター
岩盤斜面の地震応答解析における不連続変形法 (DDA) の適用	単独	2016年7月8日	土木学会	土木学会 原子力土木委員会 地盤安定解析小委員会 WG1 (破壊進展) (第5回), 東京, 北海道電力東京支社・会議室
地盤・土砂災害のリスクを知ろう	単独	2016年9月10日	高槻市	平成28年度 第2回 高槻市日吉台地区自主防災・福祉連絡会
豪雨時の土砂災害から身を守る～リアルタイム水文情報・ハザードマップの活用～	単独	2016年12月1日	吹田市	第44回生涯学習吹田市民大学 関西大学 講座(後期), 吹田市立千里市民センター・大ホール
東日本大震災における液状化被害	単独	2016年12月2日	関西大学社会安全学部	平成28年度 社会安全学部・大阪連続セミナー「東日本大震災 復旧・復興5年の検証」(第8回), 大阪, 関西大学梅田キャンパス
グラウト注入解析	単独	2016年12月9日	土木学会岩盤力学委員会	平成28年度 第2回 関西岩盤・地盤イブニングセミナー, 京都, 京都大学桂キャンパスCクラスター, グローバルホール 人融
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成28年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究補助金 基盤研究 (B)	代表	2014～2016年	2,210 (16,380)	アンコール遺跡バイオン寺院の安定化と修復・保存に向けた地盤・岩盤工学的検討
文部科学省科学研究補助金 基盤研究 (A)	分担	2014～2016年	500 (28,470)	熱・水・応力・化学連成場の岩盤透水・力学特性の解明と連成数値シミュレータの開発
文部科学省科学研究補助金 基盤研究 (B)	分担	2016～2018年	985 (17,680)	斜面内の変形と土壌水分の同時モニタリングに基づく斜面崩壊発生予測

■ 近藤 誠 司

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 現場でつくる減災学 共同実践の五つのフロンティア 災害情報学辞典	分担 分担	2016年2月 2016年3月	新曜社 朝倉書店	「ことばによる減災アクション」、矢守克也・宮本 匠（編著）、pp.133-163. 「リスクコミュニケーション」、日本災害情報学会（編）、pp.242-243.
東日本大震災 復興5年目の検証 ― 復興過程の実態と防災・減災の展望 ―	分担	2016年6月	ミネルヴァ書房	「ポスト3.11における災害ジャーナリズムの課題と展望」、関西大学社会安全学部（編）、pp.250-268.
(学術論文) ことばをめぐる実践と考察	分担	2016年3月	日本災害復興学会	特集「復興のことば、ことばの復興」、復興15号、Vol.7、pp.23-31。（渥美公秀・石原凌河・近藤誠司・杉山高志・住田功一・高野尚子・高森順子・宮本 匠・矢守克也）査読なし
(その他、論考・研究資料等) 地区防災計画 神戸市長田区真陽地区	共著	2016年3月	内閣府	仙台防災未来フォーラム2016「地区防災計画フォーラム」、パネルディスカッション4「地域で進めるべき防災とはなにか」、発表資料、参考資料
神戸市長田区真陽地区 地区防災計画モデル事業報告書	単著	2016年3月	内閣府	平成27年度地区防災計画モデル事業報告書、神戸市長田区真陽地区（全12ページ）
第2回大会・大会議室第3セッション印象記 ― 計画をめぐる“もやもや” ―	単著	2016年8月	地区防災計画学会	地区防災計画学会誌第7号（C+BOUSAI）、第2回大会 地区防災計画の可能性と課題・印象記、p.51-52.
被災地と括らずに、被災者と括らずに	単著	2016年11月	災害復興制度研究所	Fukkou ニュースレター「観感学楽」、p.7.
東日本大震災の復興情報における課題	単著	in printing	日本社会学会	第2回震災問題情報連絡会・研究交流会報告書
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 防災専門家の「夢」のアウトリーチ～ラジオ番組「ぼうさい夢トーク」の成果報告～	共同	2016年2月24日	京都大学防災研究所	平成27年度京都大学防災研究所研究発表講演会（李フシン・近藤誠司・宮本匠・矢守克也）
地区防災計画策定時におけるアーティファクトの効果 ― 神戸真陽地区のアクション・リサーチから（1） ―	共同	2016年3月6日	地区防災計画学会	地区防災計画学会誌梗概集第2号、pp.38-39、於・東京大学（近藤誠司・杉山高志）
地区防災計画をリソースとして捉える状況的行為論からの基礎的考察 ― 神戸真陽地区のアクション・リサーチから（2） ―	共同	2016年3月6日	地区防災計画学会	地区防災計画学会誌梗概集第2号、pp.40-41、於・東京大学（杉山高志・近藤誠司）
地区防災計画を周知するローカル・メディアの活用策に関する考察 ― 神戸真陽地区のアクション・リサーチから（3） ―	共同	2016年3月6日	地区防災計画学会	地区防災計画学会誌梗概集第2号、pp.42-43、於・東京大学（近藤誠司・杉山高志）
東日本大震災の復興情報における課題	単独	2016年3月14日	日本社会学会	第2回震災問題情報連絡会・研究交流会於・明治学院大学白金キャンパス
災害報道版クロスロードの開発 ― 報道従事者と非報道従事者の回答傾向の比較 ―	単独	2016年9月20日	日本自然災害学会	第35回日本自然災害学会学術講演会講演概要集、pp.139-140、於・静岡市
校内防災放送のポテンシャルティ ― 神戸市長田区真陽小学校におけるアクション・リサーチ ―	単独	2016年9月24日	日本安全教育学会	日本安全教育学会第17回徳島大会プログラム・予稿集、pp.50-51、於・徳島大学
災害伝承メディアとしての災害漫画	単独	2016年10月2日	日本災害復興学会	日本災害復興学会2016年度大会予稿集、pp.63-64、於・石巻専修大学
津波警報に対する大学生の危機意識 ― リアリティ・インジケータによる可視化の試み ―	単独	2016年10月10日	日本グループダイナミックス学会	日本グループダイナミックス学会第63回大会発表論文集、pp.55-56、於・九州大学

研 究 業 績

防災ラジオドラマの聴取効果に関する考察 — 神戸市長田区真陽小学校における実践事例から —	共同	2016年10月23日	日本災害情報学会	日本災害情報学会第18回学会大会予稿集, pp.194-195. 於・日本大学 (近藤誠司・折田彩夏)
津波遭難者のサバイバルファクターに関する基礎的考察	共同	2016年12月10日	社会貢献学会	社会貢献学会第7回大会 Design&BOSAI — 社会に貢献する人, まちのあり方 — 予稿集, pp.1-2. 於・工学院大学 (寺尾衣莉果・近藤誠司)
ぼうさいマイCREDOのポテンシャルティ	共同	2016年12月10日	社会貢献学会	社会貢献学会第7回大会 Design&BOSAI — 社会に貢献する人, まちのあり方 — 予稿集, pp.3-4. 於・工学院大学 (尾崎杏奈・近藤誠司・杉山高志)
津波警報に対する大学生の危機意識 — 関西大学社会安全学部におけるパネル調査から —	共同	2016年12月10日	社会貢献学会	社会貢献学会第7回大会 Design&BOSAI — 社会に貢献する人, まちのあり方 — 予稿集, pp.5-6. 於・工学院大学 (白永葉瑠香・広渡雅菜・近藤誠司)
防災ラジオドラマの聴取効果に関する基礎的考察 — 神戸市長田区真陽小学校におけるアクション・リサーチ —	共同	2016年12月10日	社会貢献学会	社会貢献学会第7回大会 Design&BOSAI — 社会に貢献する人, まちのあり方 — 予稿集, pp.7-8. 於・工学院大学 (折田彩夏・近藤誠司)
校内防災放送のポテンシャルティ — 神戸市長田区真陽小学校におけるアクション・リサーチから —	共同	2016年12月10日	社会貢献学会	社会貢献学会第7回大会 Design&BOSAI — 社会に貢献する人, まちのあり方 — 予稿集, pp.9-10. 於・工学院大学 (上田清加・近藤誠司)
(招待講演)				
語り部を囲んで阪神淡路大震災を偲ぶ	共同	2016年1月13日	宝塚市八王子会	宝塚市八王子会防災フェア, 中筋南公民館
Importancia de la Transmisión de Información sobre Desastres por los Medios de Comunicación	単独	2016年1月15日	JICA 関西	2015年度 JICA 中米防災対策コース, Cursos por Tema: Curso “Medidas de Prevención de Desastres para Centroamérica”, JICA 関西
巨大災害に立ち向かうために～“みんなが”+“みんなで”～	単独	2016年1月16日	尼崎市	平成27年度第3回 尼崎市防災セミナー, 尼崎市立中央公民館3階大ホール (基調講演とリレートークのシンポジスト)
東日本大震災の復旧・復興過程における課題 — “復興情報”に着目して —	単独	2016年1月21日	関西大学	第20回関西大学先端科学技術シンポジウム「安寧な社会の構築と持続技術」, 関西大学100周年記念会館
いのちを守る災害情報～巨大災害に立ち向かうために～	単独	2016年2月12日	大阪消防振興協会	防災講演会2016, 大阪市「ヴィアーレ大阪」ヴィアーレホール
情報とリアリティ	単独	2016年2月16日	京都府京丹波町情報センター	京丹波町ケーブルテレビ自主放送番組制作研修, 京丹波町情報センター
災害情報の新機軸	単独	2016年2月16日	京都府京丹波町	京丹波町職員研修, 京丹波町情報センター
地域防災を進めるために～災害情報の観点から考える～	単独	2016年2月20日	高槻市日吉台地区	平成27年度第4回自主防災・福祉連絡会, しんわ会館
地域防災を進めるために～災害情報の観点から考える～	単独	2016年2月21日	和歌山県広川町稲むらの火の館	平成27年度第3回稲むらの火講座, 稲むらの火の館
東日本大震災5年 災害報道の課題と革新	単独	2016年5月12日	関西大学社会安全学部	関西大学社会安全学部 連続セミナー 東日本大震災 復旧・復興5年の検証, 関西大学東京センター
災害時の情報伝達～課題と展望～	単独	2016年6月2日	国土交通大学校	国土交通省危機管理・安全保障研修 (四国ブロック管理職級), 四国運輸局松島町庁舎
ポスト3.11における 災害報道の課題と展望	単独	2016年6月3日	震災対策技術展	第3回震災対策技術展・大阪, グランフロント梅田 (ポスター展示も3テーマ実施)
防災情報学の新機軸	単独	2016年6月10日	防犯防災総合展	防犯防災総合展 in KANSAI 2016, インテックス大阪

地域の防災力向上を目指して — みんなが、みんなで—	単独	2016年6月11日	草津市	第7回草津市減災シンポジウム、草津市役所2階特大会議室
防災福祉コミュニティの活動 ～神戸市長田区真陽地区～	共同	2016年6月18日	高槻市日吉台地区	平成28年度第1回自主防災・福祉連絡会、しんわ会館
情報とリアリティ ～リスク・コミュニケーションの核心～	単独	2016年6月26日	日本気象予報士会 関西支部	日本気象予報士会関西支部講演会、梅田第2ビル5階
防災学習と安全管理 ～「我が事」に、そして「我々事」に～	単独	2016年6月28日	高槻市子ども未来部	高槻市学童保育指導員研修会、高槻市役所本館6階大集会室
みんなが備える、みんなを支える ～防災情報学の新機軸～	単独	2016年7月10日	関西大学校友会 高槻島本支部	関西大学校友会高槻島本支部総会講演会、アンシェルデ・マリアーヂュ
まなぶ・つなぐ ～「みんなの防災」～	共同	2016年7月16日	高槻市地域教育協議会	子どもの安全を守る地域集会、高槻市第九中学校(近藤誠司・小泉遼・上田清加・尾崎杏奈・濱本佳代子)
みんなが備える、みんなを支える ～防災情報学の新機軸～	単独	2016年7月20日	関西大学	関西大学第110回記者懇談会、関西大学100周年記念会館第2会議室
校内放送を活用した防災学習 ～現状・課題・展望～	単独	2016年7月28日	神戸市立真陽小学校	教職員研修、真陽小学校
防災教育と安全管理 充実策のコツとツボ	単独	2016年8月9日	関西大学	大阪府・大阪市教職員対象研修講座、関西大学社会安全学部
巨大災害に立ち向かうには ～我が事に、我々事に～	単独	2016年8月26日	阪南7商工会議所	阪南7商工会議所正副会頭懇談会、スターゲイトホテル関西エアポート4F「鳳の間」
ちょこっとぼうさい特別編 ～関大社安オリジナルの防災情報～	単独	2016年8月28日	関西大学社会安全学部	関西大学社会安全学部ミュージックキャンパス祭、関西大学社会安全学部
災害対応における広報のありかた	単独	2016年10月4日	内閣府	平成28年第1期内閣府防災スペシャリスト養成研修、有明の丘基幹的広域防災拠点施設
大規模災害時の広報	単独	2016年10月13日	国土交通大学校	国土交通省・危機管理・安全保障研修(近畿ブロック管理職級)、大阪合同庁舎第4号館(13階)
防災力を高めるには ～知恵と工夫で手をつなごう～	単独	2016年10月20日	尼崎市 手をつなぐ育成会	平成28年度阪神地区手をつなぐ育成会保護者研修会、あましんアルカイックホール・オクト
演出について学ぶ CONTENTとCONTEXT	単独	2016年10月24日	京都府京丹波町	京丹波町ケーブルテレビ職員研修(第2回)、京丹波町情報センター
Sobre a Elaboração do Plano de Prevenção Regional de Desastre — Ação de mitigação de desastres dos moradores, pelos moradores, para os moradores —	単独	2016年10月27日	JICA 関西	JICA ブラジル研修「総合防災行政(C)」コース、Gestão Geral da Prevenção de Desastres Curso (C) Brasil Programa de Treinamento do Ano Fiscal de 2016 JICA
防災教育と安全管理 ～災害対応を中心に～	単独	2016年10月31日	高槻市立第十中学校	高槻市立第十中学校教職員研修、高槻市立第十中学校図書室
災害情報の課題 — “親切と善意”の逆機能—	単独	2016年11月4日	関西大学社会安全学部	関西大学社会安全学部大阪連続セミナー、関西大学梅田キャンパス
防災の取り組みを進める秘訣 ～みんなが、みんなで～	単独	2016年11月6日	尼崎市難病団体連絡協議会	第16回尼崎市難病団体連絡協議会・講演交流会、尼崎市 立すこやかプラザ多目的ホール
大規模災害時の広報	単独	2016年11月8日	国土交通大学校	平成28年度国土交通省(専門課程)大規模地震・津波対策研修、国土交通大学校柏研修センター
防災教育と安全管理 ～充実させていくためのポイントとは～	単独	2016年11月15日	高槻市教育センター	高槻市教職員研修、高槻市教育センター
南海トラフ巨大地震に備える ～我が事に、我々事に～	単独	2016年12月2日	淡路消防保安協会 兵庫県淡路県民局	平成28年度防災講演会、洲本市文化体育館文化ホール
東日本大震災の緊急報道 ポイント解説 ～NHK編～	単独	2016年12月8日	関西なまずの会	関西なまずの会第28回勉強会、梅田第2ビル
情報とリアリティ — リスク・コミュニケーションの核心—	単独	2016年12月13日	大阪管区气象台	大阪管区气象台職員研修、大阪管区气象台大会議室

研 究 業 績

資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成28年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
J R 西日本あんしん社会財団平成28年度研究助成	代表	2016年度	1,200千円	校内放送による防災学習プログラムの開発
京都府「1まち1キャンパス事業」	代表	2016年度	300千円	C A T Vにおける防災コンテンツの共同制作による地域防災力向上支援プロジェクト
関西大学平成28年度 教育研究緊急支援経費 (研究促進費)	分担	2016年度	3,000千円 (300千円)	熊本地震災害から見た日本の災害対策の国際比較と課題の抽出
日本自然災害学会 緊急災害調査補助	代表	2016年度	200千円	発達障害者の情報支援体制に関する実態調査
平成28年度 堺市と関西大学の地域連携事業	代表	2016年度	400千円	ほうさいCREDO による「土砂災害/豪雨・率先避難者」の育成事業
科学技術振興機構 SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)「レジリエントな防災・減災機能の強化」	協力者	2014年度 ~2018年度	0千円	津波避難訓練および支援ツールの開発研究
京都大学防災研究所共同研究(平成28年度一般研究集会28K-02)災害メモリアルアクション K O B E 2 0 1 7	協力者	2016年度	50千円	「ほうさいマイCREDO」プロジェクト
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本自然災害学会				
日本災害情報学会(学会誌編集委員)				
日本災害復興学会(学会誌編集委員・幹事)				
日本グループ・ダイナミックス学会				
日本質的心理学会				
日本安全教育学会				
社会貢献学会(学術委員)				
地区防災計画学会(幹事)				
(社会貢献活動)				
兵庫県「災害メモリアルアクション」企画委員				
神戸市「子育て世代」防災啓発プロジェクト検討会委員				
京都大学防災研究所・地震予知研究センター運営協議会委員				
(報道, 出演, 投稿)				
2016年1月6日 神戸新聞「お昼の校内放送で防災情報発信 神戸・真陽小児童」				
2016年1月10日 毎日新聞(地方版)「阪神大震災21年 関大生が防災カレンダー 毎日刻む, 前向き宣言 長田・真陽住民との交流生かす」				
2016年1月10日 神戸新聞「次の世代に教訓継承へ 被災者の聞き取り調査など成果を報告」				
2016年1月11日 毎日新聞(地方版)「校内放送で防災教育 教科アイデア賞, 関大・近藤研究室」				
2016年1月11日 神戸新聞「若者の功績たたえる ほうさい甲子園表彰式」				
2016年1月13日 朝日新聞「防災の心構え刻むカレンダー」				
2016年1月14日 朝日新聞デジタル「阪神・淡路大震災21年 震災被災者の前向きな言葉, カレンダーに」				
2016年1月15日 ラジオ大阪・防災 守れる命「震災と言葉」				
2016年1月17日 NHKニュース神戸発・あの日を胸に未来へ「地区防災計画」				
2016年1月19日 サンテレビ NEWS PORT 特集「大学生と小学生が協力 お昼の校内放送 身近に防災を」				
2016年1月24日 NHKラジオ 公開収録イベント「ほうさい夢トークスペシャル」Next Generations! 企画(2016.2.29 on air)				
2016年2月13日 ラジオ大阪・防災 守れる命「津波警報」				
2016年2月22日 関大タイムス「ほうさい甲子園で教科アイデア賞に 校内放送で防災」				
2016年3月10日 教育新聞「身近な取り組みで防災教育 ポジティブな雰囲気で活動を」				
2016年3月15日 朝日新聞「災害考 6年目の先に」				
2016年3月18日 日刊工業新聞 レーザー 「笑顔の効用」				
2016年3月26日~4月2日 京丹波ケーブルテレビ「ほうさいマイCREDO第3弾 下山小学校6年生編」				

- 2016年3月 希燦時 リレーエッセイ「防災教育の要諦～みんなが、みんなで～」p.19
- 2016年3月 尼崎市社協だより第74号 尼崎市市制100周年記念プレ事業あまがさき地域福祉フェスタ
- 2016年4月2日～4月8日 京丹波ケーブルテレビ「ほうさいマイCREDO第4弾 京都府立林業大学校編」
- 2016年4月20日 NHKラジオ・マイあさラジオ「求められる情報支援」
- 2016年4月22日 NHKラジオ・マイあさラジオ「現地レポート」
- 2016年4月28日 NHKラジオ・防災コラム「情報支援の観点を」
- 2016年5月28日 テレビ大阪「自分を守る 防犯防災に挑む最前線2016」
- 2016年6月4日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第1回 「関西大学社会安全学部って何？」
- 2016年6月11日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第2回 「近藤ゼミのゼミ長と副ゼミ長からご挨拶」
- 2016年6月11日 びわこ放送 くらしsafety2016「地区防災計画策定に向けて」
- 2016年6月17日 毎日新聞（地方版）「校内防災放送に磨き」
- 2016年6月18日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第3回 「防災の絵本を紹介します」
- 2016年6月25日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第4回 「防災グッズ ホイッスル実験」
- 2016年6月28日 福井テレビ みんなのニュース「福井地震から68年 新たな課題 変わる訓練」
- 2016年7月 日吉台地区だより「特別寄稿 地域のきずなは、防災力の要」
- 2016年7月2日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第5回 「防災の本から福島のことを知ろう」
- 2016年7月2日～7月8日 京丹波ケーブルテレビ「ほうさいマイCREDO第5弾 関西大学近藤ゼミ編」
- 2016年7月9日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第6回 「ちよこつと復習、ちよこつと予習」
- 2016年7月16日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第7回 「熊本地震の被災地調査から」
- 2016年7月23日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第8回 「ご存知ですか、防災アプリ」
- 2016年7月30日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第9回 「報告 防災クイズでラジオ体験」
- 2016年8月6日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第10回 「災害映画 ～地震と津波～」
- 2016年8月8日 和歌山放送ニュース「広川町で大学生が防災を考えるサマースクール開催」
- 2016年8月8日 読売新聞（地方版）「広川町で地域防災を考える 関西の学生ら1泊で合宿」
- 2016年8月11日 有田タイムズ「京大や関大の学生ら 広川町の防災まちづくり構想」
- 2016年8月 2・1紀州(261号)「広川町で地域防災を考える」
- 2016年8月13日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第11回 「サバイバル・クッキング第1弾 かんぱんを美味しく食べる！」
- 2016年8月20日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第12回 「ひまわりで、防災」
- 2016年8月27日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第13回 「おはしもて（サマキャンPR）」
- 2016年8月27日～9月2日 京丹波ケーブルテレビ「福島県いわき市をたずねて～関西大学近藤ゼミのフィールドワーク～」
- 2016年9月3日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第14回 「防災の日はいかがお過ごしでしたか」
- 2016年9月3日～9月9日 京丹波ケーブルテレビ「ほうさいマイCREDO第6弾 少年野球チーム・ゴンターズ高原編」
- 2016年9月10日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第15回 「防災絵本 優しいあかりにつつまれて」
- 2016年9月17日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第16回 「福島訪問記」
- 2016年9月24日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第17回 「防災アニメ マグニチュード8.0」
- 2016年10月1日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第18回 「百均で防災！」
- 2016年10月8日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第19回 「稲むらの火で津波防災を学ぼう」
- 2016年10月15日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第20回 「災害情報ハンドリング」
- 2016年10月22日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第21回 「サバイバルLINE」
- 2016年10月29日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第22回 「サバイバル・クッキング第2弾 非常食でほっこりしたい！」
- 2016年11月5日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第23回 「災害時のトイレ」
- 2016年11月12日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第24回 「こども目線でおとも学ぼう」
- 2016年11月19日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第25回 「ホイッスル実験 完結編」
- 2016年11月22日 関大HP「社会安全学部の小泉遼さんが、日本学生支援機構「優秀学生顕彰」を受賞
- 2016年11月24日 読売オンライン ニュース深読み「意外と頼りにならない災害マニュアルの“落とし穴”」
- 2016年11月26日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第26回 「サバイバル・クッキング第3弾」
- 2016年12月3日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第27回 「災害情報 基礎の基礎」
- 2016年12月10日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第28回 「Let's go to 防災カフェ」
- 2016年12月10日 毎日新聞（地方版）「ほうさい甲子園 優秀賞の関大・近藤研究室、CATVで防火CM」
- 2016年12月15日 関大FACEBOOK「社会安全学部・近藤誠司准教授のゼミが「ほうさい甲子園」で優秀賞！」
- 2016年12月17日 ラジオ大阪・ちよこつと防災 第29回 「災害映画 ～再び、地震と津波～」

研 究 業 績

2016年12月24日 ラジオ大阪・ちよこっと防災 第30回 「復興支援ソングの研究報告」

2016年12月31日 ラジオ大阪・ちよこっと防災 第31回 「地震列島・日本 30年確率の受け止め方」

そのほか、2016年2月から京都府京丹波町ケーブルテレビにて、研究室で企画制作した防火スポットCM約20種類を2000回以上放送【継続中】

(その他業績として記載を希望する事項)

第6回防災ラジオドラマコンテスト最優秀賞(防災科学技術研究所主催)

平成27年度1.17防災未来賞・ほうさい甲子園「教科アイデア賞」受賞

京都大学防災研究所巨大災害研究センター 非常勤講師

徳島大学大学院先端技術科学教育学部 非常勤講師

神戸学院大学現代社会学部・学際教育機構 非常勤講師

KOBE 虹会(主宰)、関西なまずの会(副代表)、次世代防災研究者連盟(世話役代表)

■ 城下英行

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 災害情報学事典	分担執筆	2016年3月	朝倉書店	日本災害情報学会編。私は、「防災教育」及び「防災訓練」(pp.244-247)を担当した。
(学術論文) 防災教育における「伝達型」・「参加型」モデルの関係性——満点計画学習プログラムをめぐって——	共著	2016年6月	日本災害情報学会	岩堀卓弥・矢守克也・城下英行・飯尾能久・米田格著。災害情報, 第14号, pp.140-153 (査読有り)
Behavioral Response in the Immediate Aftermath of Shaking: Earthquakes in Christchurch and Wellington, New Zealand, and Hitachi, Japan.	共著	2016年11月	Multidisciplinary Digital Publishing Institute	Jon I, Lindell MK, Prater CS, Huang SK, Wu HC, Johnston DM, Becker JS, Shiroshita H, Doyle EE, Potter SH, McClure J, Lambie E, International Journal of Environmental Research and Public Health, 13 (11), 1137, Doi:10.3390/ijerph13111137, 2016. (査読有り)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表(自発表のみ)) 「想定外」に立ち向かうための防災共育	単独	2016年9月20日	日本自然災害学会	第35回日本自然災害学会学術講演会, 静岡県地震防災センター
日常生活の中に埋め込まれた防災の発見	単独	2016年10月22日	日本災害情報学会	日本災害情報学会第18回学会大会, 日本大学文理学部
(招待講演(講演会・研修等)) 泉大津市の防災学習について——クロスロードを使って——		2016年6月14日		泉大津市防災学習研修会, 泉大津市教育センター
誰もが主役の防災教育に向けて		2016年7月28日		平成28年度乙訓地区学校安全研究協議会, 向日市立第4向陽小学校
防災の主役になるための防災教育		2016年10月24日		平成28年度消費者力育成セミナー, 大阪府立大学
中学生にとって必要な「防災教育」とは?		2016年10月31日		長岡京市立長岡中学校防災教員研修, 長岡京市立長岡中学校
大学における防災教育——学生生活支援の視点から——		2016年12月2日		平成28年度私立短大学生生活指導担当者研修会, ガーデンパレス京都
防災リーダーの役割——誰もが主役になるための防災教育——		2016年12月3日		平成28年度高槻市防災指導員講習, 高槻市役所
高校生が災害ボランティアを行う価値とは		2016年12月18日		平成28年度第2回災害ボランティア体験学習活動(京都府教育委員会), キャンパスプラザ京都
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成28年度の研究経費(期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(A)	分担	2014年度～2018年度	2000千円(予定)	新しい津波避難支援ツールの開発に関するアクションリサーチ——巨大想定に挑む——
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(A)	分担	2015年度～2017年度	900千円(予定)	被災者参画による原子力災害研究と市民復興モデルの構築: チェルノブイリから福島へ
文部科学省科学研究費補助金・若手研究(B)	代表	2016年度～2018年度	2300千円	防災の意味を協働構築するための学習プログラムの開発研究
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本自然災害学会				

研 究 業 績

日本安全教育学会 日本災害情報学会 地域安全学会 日本地震工学会 大学教育学会 科学技術社会論学会
(社会貢献活動) 大阪府 防災教育推進委員会 委員長 泉大津市 防災アドバイザー 埼玉県防災学習センター展示等検討委員会 副委員長 平成28年度京都府実践的安全教育総合支援事業「京都府推進委員会」 委員
(その他業績として記載を希望する事項) 大阪教育大学 学校危機メンタルサポートセンター 共同研究員 一般社団法人 地域原子力防災支援協議会 理事 平成28年度教員免許状更新講習「安全教育：防災と情報セキュリティ」 講師 (防災領域)

■ 菅 磨志保

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 災害ボランティアをめぐる課題 ～東日本大震災から5年目を経て 専門ボランティア	分担執筆 分担執筆	2016年3月 2016年5月	ミネルヴァ書房 法律文化社	関西大学社会安全学部編『東日本大震災復興5年目の検証』209-230頁 能呂雅行・山崎栄一・津久井進編『災害対応ハンドブック』42-44頁
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 災害過程における市民活動の役割に関する一考察～阪神・淡路大震災から中越地震を経て東日本大震災へ	単独	2016年3月14日	社会学系4学会連合	第2回東日本大震災研究交流会(社会学系4学会連合)、於:明治学院大学
原発避難者の生活再編と地域再生(5) ～原発避難問題を改めて原発避難災害研究の限界と生活研究の可能性と課題	単独 (連携報告の一部)	2016年10月8日	日本社会学会	第89回日本社会学会大会、於:九州大学
(招待講演) 5年目を迎えた東北の今 ～復興期になぜ協働が求められるのか (分科会3:総括コメント) 「火の国会議」の議事録に見る支援活動と、 これからの復興に向けて(基調報告)	共同 単独	2016年2月12日 2016年10月22日	全国災害ボランティア団体支援ネットワーク(JVOAD) くまもと災害ボランティア団体ネットワーク(KVOAD)	災害時の連携を考える全国フォーラム、 於:国際ファッションセンター(墨田区) くまもと災害ボランティア団体ネットワーク設立総会、於:あいぽーと(熊本市)
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成28年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費(基盤研究C)	研究代表者	2015年度 ～2017年度	600,000円 (2,204,00円)	災害過程における市民活動の役割に関する社会学的研究
文部科学省科学研究費(基盤研究B)	研究分担者	2014年度 ～2016年度	100,000円 (2,600,000円)	「空間なきコミュニティ」における避難者の生活構造の再編に関する社会学的研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本社会学会、地域社会学会、日本都市学会・関東都市学会、 日本災害復興学会、日本災害情報学会、地域安全学会、日本自然災害学会				
(社会貢献活動) 震災がつなぐ全国ネットワーク 幹事(平成16年度～現在に至る) 高槻市地域防災会議 委員(平成24年3月～現在に至る) 内閣府「広く防災に資するボランティア活動の促進に関する検討会」委員(平成27年12月～現在に至る) (特活) 神戸まちづくり研究所 理事(平成27年12月～現在に至る) (特活) ジャパン・プラットフォーム「共に生きるファンド事業評価2016」評価委員(平成28年7月～現在に至る) 全国社会福祉協議会「都道府県域における同時多発・広域災害への支援のあり方検討委員会」委員(平成28年9月～現在に至る) 消防庁「自主防災組織等の充実強化方策に関する検討会」委員(平成28年9月～現在に至る) 奈良県地域防災計画検討委員会 委員(平成28年12月～現在に至る)				

研究業績

■ 永田尚三

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 東日本豪雨災害の被害は人災ではないのか?: 平成の大合併で自治体の災害対応能力が低下 熊本地震の影響と課題: 行政機関の災害応急対応 熊本地震における行政機関の災害応急対応 — 熊本地震から見てきた我が国の防災体制の今後の方向性 —	単著 単著 単著	2016年4月 2016年7月 2016年11月	政策研究フォーラム 政策研究フォーラム 全国行政相談委員協議会	改革者, 57 (4) (通号 669), P48-51 (依頼論文) 改革者, 57 (7) (通号 672), P52-55 (依頼論文) 季刊行政相談, No.151, P42-49 (依頼論文)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(招待講演) わが国の消防行政 消防行政の課題 — 消防の広域再編の動きを中心に — 自治体における防災行政 日本の広域応援	単独 単独 単独 単独	2016年8月31日 2016年10月8日 2016年11月16日 2016年11月17日	関西大学北陽高等学校 三重県消防職員協議会 兵庫県西宮市 巴拿恰災害法学フォーラム	社会安全学部と北陽中学校との連携プログラム, 関西大学高槻ミュージックキャンパス 三重県消防職員協議会総会, 亀山市青少年研修センター H28 西宮市課長第2部研修, 西宮市役所 関西大学社会安全学部 四川大学法学院 合同シンポジウム (2016年巴拿恰災害法学フォーラム — 日本フォーラム), 関西大学高槻ミュージックキャンパス
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成28年度の研究経費 (期間全体の額) (単位: 千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費 基盤 (C) JR 西日本あんしん社会財団 関西大学教育研究高度化促進費 関西大学教育研究緊急支援経費	代表 代表 代表 分担	2013~2016 2016 2016 2016	500 (4810) 2000 (2000) 2280 (2280) 200 (3000)	住民防災組織の活性化策の比較研究 — 住民防災組織内の専門性 — 消防団の活性化に関する萌芽的研究 マルチハザード時代の共助体制及び共助組織に関する研究 熊本地震災害から見た日本の災害対策の国際比較と課題の抽出
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本行政学会, 日本公共政策学会, 日本政治学会, 日本オンブズマン学会, 日本地域学会, 日本計画行政学会, 日本法政学会				
(社会貢献活動) 日本行政学会理事 日本オンブズマン学会理事 日本地域政策学会理事 日本公共政策学会関西支部運営委員 一般社団法人地域原子力防災支援協議会 (代表理事) 政策研究フォーラム (評議員)				
(その他業績として記載を希望する事項) 日本公共政策学会「公共政策フォーラム2016 in 津南」 「大学生による政策コンペ」で、永田ゼミナールが津南町教育長賞受賞				

■ 元 吉 忠 寛

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 動機づけ理論に基づく環境配慮行動の分析	共著	2016年3月	モチベーション研究所	モチベーション研究, 5, 2-11. (竹橋洋毅・元吉忠寛) (査読有)
日本と中国におけるPM2.5に対する意識調査—大阪府内, 沖縄県内, 南京市内の大学を例に—	共著	2016年3月	関西大学社会安全学部	社会安全学研究, 6, 95-102. (高尾堅司・元吉忠寛・ザイ国方) (査読有)
Risk perceptions of resuming nuclear power plant operations after Fukushima: A student survey.	共著	2016年9月	Fuji Technology Press	Journal of Disaster Research, 11, 789-797. (Seo, K., Motoyoshi, T., & Maeda, Y.) (査読有)
(その他, 論考・研究資料等) 福島県外避難者への支援と今後の課題	単著	2016年3月	新潟県精神保健福祉協会	平成27年度福島県外避難者の心のケア事業ふくしま支援者サポート事業報告書, 24-25.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 避難情報の提示における自己スキーマの影響—子どもを持つ母親を対象として—	単独	2016年9月18日	日本社会心理学会	日本社会心理学会第57回大会, 関西学院大学
小学生向け防災教育デジタル教材の開発—災害発生時の主体的な行動力の育成を目的として—	共同	2016年10月9日	日本教育心理学会	日本教育心理学会第58回総会, サンポートホール高松
(招待講演) 災害準備を日常に取り入れる! 「ライフスタイル防災」のススメ	単独	2016年2月13日	大阪市	平成27年度 大阪市まちづくり市民大学 大阪市立総合生涯学習センター
災害自己効力感を育む	単独	2016年3月5日	関西社会心理学研究会	第431回関西社会心理学研究会例会 関西大学社会安全学部
リスクコミュニケーションの基礎	単独	2016年11月11日	滋賀県	平成28年度滋賀県リスクコミュニケーション研修会 滋賀県危機管理センター
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成28年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	代表	2014~17年度	650 (3,770)	防災行動における制御焦点と感情の役割の解明
科学技術振興機構・戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)研究開発領域「コミュニティがつなぐ安全・安心な都市・地域の創造」	分担	2013~16年度	1,202 (7,160)	大規模災害リスク地域における消防団・民生委員・自主防災リーダー等も守る「コミュニティ防災」の創造
日本心理学会・第1回災害からの復興のための実践活動及び研究助成	代表	2016~17年度	700 (700)	長期避難者を支援する支援者の活動実態の把握とサポートマニュアルの開発
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本心理学会, 日本教育心理学会(編集委員), 日本グループ・ダイナミックス学会(理事, 編集委員), Asian Association of Social Psychology, 日本社会心理学会(理事, 編集委員), 日本リスク研究学会, Society for Risk Analysis, 地域安全学会, Society for Personality and Social Psychology, International Association of Applied Psychology, American Psychological Association				
(その他業績として記載を希望する事項) 教員向け防災教材「地域の守り手について学ぶ防災教育」の作成(2016年3月) 小学生向け防災教材「タイムラインで学ぶ防災対策」の作成(2016年9月) 大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター共同研究員				

研 究 業 績

■ 秋 山 まゆみ

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学術論文) 「原産国の不当表示と販売事業者の責任」	単著		有斐閣	『経済法判例・審決百選（第2版）』
(招待講演) 「製品安全に関する法律知識」	単独	2016年6月	富山県消費生活センター	平成28年度消費生活相談員養成支援講座
「製品事故をめぐる諸問題」	単独	2016年7月	公益社団法人 全国消費生活相談員協会	消費生活専門相談員養成講座
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本経済法学会 日本国際経済法学会 日本経営倫理学会 日本公共政策学会				
(社会貢献活動) 公正取引委員会・関西経済法研究会				

研究業績書（大学院生）

氏名	著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有もしくは査読相当の場合はその旨
【論文（査読有り）】					
<博士3年> 小園 裕司	複数の移動形態を考慮した災害がれきの発生・移動予測モデルの開発	共著	2016年 11月15日	土木学会	土木学会論文集B2（海岸工学），小園裕司，高橋智幸，桜庭雅明，野島和也，Vol.72, No.2, pp.I_439-I_444, 査読有
<修士2年> 亀田 知沙	AR技術を活用した津波リスクの可視化手法の開発	共著	2016年 6月30日	可視化情報学会	可視化情報学会論文集，亀田知沙，高橋智幸，Vol.36, No.5, pp.32-39, 査読有
<修士1年> 藤原 岳大	津波波源内の海面擾乱に関する水理実験および数値計算	共著	2016年 11月15日	土木学会	土木学会論文集B2（海岸工学），藤原岳大，坂本匡史，高橋智幸，Vol.72, No.2, pp.I_343-I_348, 査読有
【論文（査読無し）】					
<修士2年> 大塚 和徳	災害時に利用される空間コスト算定に関する研究	共著	平成28年 7月	日本都市計画学会 関西支部	第14回日本都市計画学会関西支部研究発表報告集，越山健治
【学会発表】					
<博士3年> 小園 裕司	Development of Tsunami Numerical Model Considering the Disaster Debris such as Cars, Ships and Collapsed Buildings	共同	2016年 12月14日	American Geophysical Union	AGU Fall Meeting 2016, Yuji Kozono, Tomoyuki Takahashi, Masaaki Sakuraba and Kazuya Nojima, NH34A-01, San Francisco, USA
<博士1年> ポスター発表 静間 健人	リスクコミュニケーション場面における信頼の規定因に見透かされ感が与える影響	共同	2016年 9月1日	日本応用心理学会	日本応用心理学会第83回大会（札幌市立大学[北海道札幌市]）（土田昭司と共同）
静間 健人	態度の見抜かれ感が信頼評価に与える影響	共同	2016年 9月18日	日本社会心理学会	日本社会心理学会第57回大会（関西学院大学[兵庫県西宮市]）（土田昭司と共同）
<修士1年> 大西 麻仁	存在脅威管理理論における不謹慎意識，所属意識，他者関係希求への効果	共同	2016年 9月1日	日本応用心理学会	日本応用心理学会第83回大会（札幌市立大学[北海道札幌市]）（土田昭司と共同）
大野 哲平	多数洪水シナリオを用いた最適な破堤間隔に関する数値計算	共同	2016年 9月7日	土木学会	第71回年次学術講演会，大野哲平，高橋智幸，東北大学川内北キャンパス，仙台
藤原 岳大	津波波源内の断層運動に伴う海面擾乱に関する水理実験および数値計算	共同	2016年 9月7日	土木学会	第71回年次学術講演会，藤原岳大，坂本匡史，高橋智幸，東北大学川内北キャンパス，仙台